

多摩大学時代の総決算

(2008年度～2018年度)

The screenshot displays the website <http://www.hisatune.net/>. The header includes navigation links like '久恒啓一図解WEB' and 'ファイル(E) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(I) ヘルプ(H)'. The main content area is titled '久恒啓一 図解WEB' and features a central hub-and-spoke diagram. The diagram's central node is '久恒啓一' (Hisatune), with branches for '教育者' (Educator), '研究者' (Researcher), '情報源' (Information Source), and '社会貢献' (Social Contribution). The '教育者' branch lists '多摩大学' (Tama University) and '宮城大学' (Miyagi University). The '研究者' branch lists '久恒啓一' (Hisatune) and '久恒啓一' (Hisatune). The '情報源' branch lists '久恒啓一' (Hisatune) and '久恒啓一' (Hisatune). The '社会貢献' branch lists '久恒啓一' (Hisatune) and '久恒啓一' (Hisatune). The diagram also includes a '久恒啓一' (Hisatune) section with a photo and a '久恒啓一' (Hisatune) section with a photo. The page also features a '最新メディア' (Latest Media) section with a list of recent works, a '最近著作・代表著作など' (Recent Works / Representative Works, etc.) section with a list of books, and a '今日の格言' (Today's Quote) section with a quote. At the bottom, there is a '性格タイプ診断' (Personality Type Diagnosis) section and a '久恒啓一' (Hisatune) section with a photo.

Copyright (C) 1998-2019 久恒啓一. All Rights Reserved.

2019年3月
多摩大学 久恒啓一
<http://www.hisatune.net>

プロフィール



撮影：タツ・オザワ

1950年大分県中津市生まれ 九州大学法学部卒業。1973年日本航空株式会社入社、広報課長、サービス委員会事務局次長を歴任。ビジネス・スマン時代から「知的生産の技術」研究会（現在はNPO法人）に所属し著作活動も展開。早期退職し、1997年4月新設の宮城大学教授（事業構想学部）に就任。2002年に日本経済新聞社から出した「図で考える人は仕事ができる」がベストセラーに。NPO法人知的生産の技術研究会理事長。2004年度より中国・吉林大学客員教授。2008年度より多摩大学教授。宮城大学名誉教授。2012年度より経営情報学部長。2014年度より多摩大学総合研究所所長、2015年度より多摩大学副学長。

【行政等の委員会活動】

国土交通省「水・道路・都市の環境政策と合意形成に関する研究会」副座長、産業人材研究会（経済産業省）、宮城県行政改革推進委員会委員、宮城県民サービス向上委員会委員長、宮城県行政改革進行管理委員会委員、宮城県大規模事業評価委員会委員、宮城県長期総合計画審議会専門委員、宮城県バリアフリー国体アドバイザー、気仙沼市行政改革懇話会副会長、清水町21世紀まちづくり委員会委員長、古川市農業農村対策審議会会長、大崎市行政改革推進委員会会長

【主な講演会、セミナーなどの講師】

（行政）最高裁判所、東京高等裁判所、仙台高等裁判所、宇都宮地裁、横浜地裁、人事院、防衛庁技術研究本部、財務省税関研修所、文部科学省高等教育局、国土交通省東北地方整備局、東北財務局、独立行政法人国際協力機構（JICA）、国立大学協会、自治大学校、消防大学校、秋田県庁、山形県庁、宮城県庁、宮崎市保健所、三重県庁、高知県庁、全国市町村職員中央研修所、神奈川県市町村職員研修所、東北自治研修所、ふくしま自治研修センター、石川県看護協会、石川県自治研修所、中小企業大学校、宮城県庁、宮城県市町村職員研修所、自治体議会政策学会、東北郵政局職員研修所、宮城県仙南保健所、仙台市役所、松島町役場、松山町役場、本吉町役場、丸森町役場、宮城県看護協会、国民健康保健連団体連合会（大分）、全国保健師連合会（東京）、東北公済病院、滋賀県市町村職員研修所、（財）地域活性化センター、石巻市民会議、はちおうじ志民塾、東京都庁、座間市

（企業など）トヨタ自動車、日産自動車、キャノン、富士ゼロックス、リクルート、日本経済新聞社、朝日新聞社、JR東日本、日本航空、マイクロソフト、松下電器、日本電気、コナミ、三菱商事、三菱UFJ、近畿日本ツーリスト、東北電力、中部電力、慶應丸の内シティキャンパス、日経ビジネススクール、日本総合研究所、企業法務研究会、エーザイ、第一製薬、山之内製薬、安田火災海上、資生堂、三井海上火災保険、仙台経済同友会、七十七銀行、河北新報、鋼材倶楽部、丸善、21世紀プラザ、大分経済同友会、日本遊技産業同友会、日本能率大会、企業研究会、三菱UFJコンサル、SMBCコンサルティング、日産クリエイティブサービス、横浜中央本鶏クラブ、岡山県庁、奈良県庁

（教育）東北大学医学部、東北大学大学院工学研究科、筑波大学教育センター、奈良県教育センター、岡山県教育センター、群馬県教育センター、山梨県教育委員会校長研修会、全国カトリック学校校長会、仙台市教育センター、花巻市校長会、宮城県向山高校、富谷高校、仙台白百合高校、アカデミア・コンソーシアムふくしま、八乙女小学校、徳島県立総合看護学校、愛知教育大学、プレゼンテーション教育学会、東北地区高等学校進路指導協議会研究大会、日本未来学会、中央大学草加白門会、大分県高等学校PTA連合会

【主な寄稿雑誌】

週刊ダイヤモンド、日経ビジネス、プレジデント、週刊エコノミスト、日経ペンチャー、ビッグ・トゥモロー、日経ビジネスアソシエ、ビジネスアスキー、The21、R25

【著書】100冊以上（中国・韓国・台湾・マカオなど東アジアで著書が数多く翻訳出版されている）

「図で考える人は仕事ができる」（日本経済新聞社）「図で考える人は仕事ができる 実践編」（日本経済新聞社）「対話力」（中公新書ラクレ）「合意術「深掘り型」問題解決のすすめ」（日本経済新聞社）「できる人になるには勉強してはいけない！」（青春出版社）「知の現場」（東洋経済新報社）「図で読み解く！ドラッカー理論」（かんき出版）「40歳からのライフデザイン」（講談社）「知っておきたいビジネス理論」（PHP研究所）「人生がうまくいく人は図で考える」（三笠書房）「仕事と人生で成功する人の図で考える習慣」（幻冬舎）「30歳からの人生リセット術」（創元社）「仕事力を高める方法は「図」がすべて教えてくれる！」（PHP研究所）「仕事は頭でするな、身体でせよ！」（大和書房）「図で考えれば文章がうまくなる」（PHP文庫）「残業はするな、前業をせよ！」（大和書房）「あなたの人生が上手いく7つの「成功法則」」（三笠書房）「図解で身につく！ドラッカーの理論」（中経の文庫）「タテの会議、ヨコの会議」（ダイヤモンド社）「志KOKOROZASHI」（ディスカバー・トゥエンティワン）「図で考える技術が身につくトレーニング30」（自由国民社）「図解 資本論」（イースト・プレス）「問題がすっきり解決！図解思考の本」（PHP研究所）「知的生産手帳」・「知的生産手帳DIY版」（東洋経済新報社）「残業はするな、前業をせよ！」（文庫）（大和書房）「遅咲き偉人伝～人生後半に輝いた日本人～」(PHP研究所)「グローバル・リーダーコース」「図解でわかる！難解な世界の名著のなかみ」(中経の文庫)「人生の道を拓く言葉130」(日経ビジネス人文庫)（日本能率協会マネジメントセンター）「団塊坊ちゃん青春記」(多摩大出版会)「30代からの人生戦略は「図」で考える！」(PHP研究所)「日本一わかりやすい 図解日本史」(PHP研究所)「人生100年時代の生き方死に方―百寿者（センテナリアン）からの伝言」(さくら舎)「偉人の命日366名言集」(日本地域社会研究所)「新・深・真 知的生産の技術」(日本地域社会研究所)

多摩大学の再建に力を注いだ11年間

2015年1月、京王線・小田急線の駅に“ゼミカの多摩大”のポスターを掲出

『ゼミカの多摩大』として、
これからも“手づくり感”あふれる教育を展開してまいります。

現代の志塾
— 開学25周年を迎えました —

写真は経営情報学部教授陣

TAMA UNIVERSITY 多摩大学

経営情報学部 事業構想学科(平成27年度より名称変更)・経営情報学科【多摩キャンパス】 グローバルスタディーズ学部 グローバルスタディーズ学科【湘南キャンパス】

大学院 経営情報学研究科 MBAコース・ビジネスデータサイエンスコース【品川サテライト・多摩キャンパス】

多摩大 検索

多摩大学再建に果たした役割の軌跡

	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育	多摩大学経営情報学部教授（2008年4月～2019年3月）											
	多摩大学大学院経営情報学研究科教授（2008年4月～2019年3月）											
	多摩大学 特任教授 （2019年4月～）											
	多摩大学 名誉教授 （2019年4月～）											
	宮城大学 名誉教授（2008年4月～）											
管理運営	多摩大学学長室長（2009年2月～2011年3月）											
	多摩大学総合研究所所長（2009年4月～2012年3月）					多摩大学総合研究所所長（2014年4月～）						
	多摩大学地域活性化マネジメントセンター副センター長 （2010年4月～2012年3月）											
	多摩大学経営情報学部長（2012年4月～2017年3月まで）											
	多摩大学副学長（2015年4月～2019年3月）											
	多摩大学「志」入試センター長 （2015年8月～2017年3月）											
	多摩大学研究開発機構長 （2016年4月～2019年3月）											
	貢献社会	NPO法人知的生産の技術研究会 理事長（2004年4月～）										
研究	大いなる多摩学会理事・副会長 （2017年3月～）											
	日本未来学会 理事（2016年6月～）											

目次

25ページ～

大学教授としての
社会貢献

メディア

著作

講演

5ページ～

学生と共に歩む

教育者

大学院

ゼミ

インターゼミ

学部(講義)

社会とともに歩む

研究者

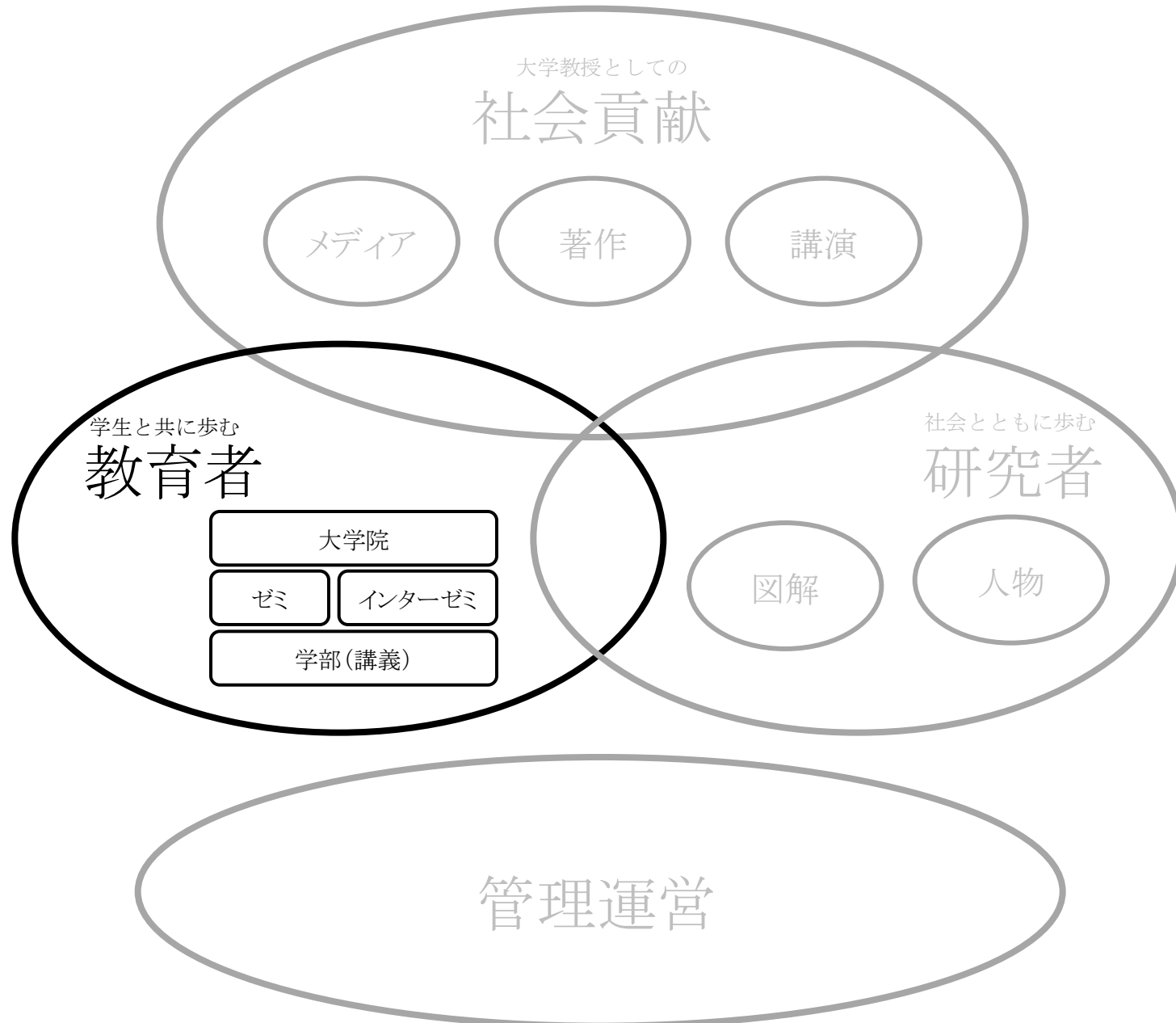
図解

人物

16ページ～

29ページ～

管理運営



学部(講義) ビジネスコミュニケーションⅠ (春学期)

ビジネスコミュニケーションⅠ※ (春学期)

※授業名の変遷

2008年度～2010年度

マネジメントデザインⅠ

2011年度～2014年度

マネジメントデザイン論Ⅰ

2015年度～2018年度

ビジネスコミュニケーションⅠ

講義の概要:全15講

＜第1講目＞「マネジメントと図解コミュニケーション」、＜第2講目＞「ビジネスと経営」、＜第3講目＞「コミュニケーションと情報」、＜第4・5・6講目＞「ビジネスに関するトピックス」、＜第7・8・9講目＞「コミュニケーションに関するトピックス」、＜第10・11講目＞「経営情報に関するトピックス」、＜第12講目＞「商品に関するトピックス」、＜第13・14講目＞「時事に関するトピックス」、＜第15講目＞「経営情報とビジネスコミュニケーション」

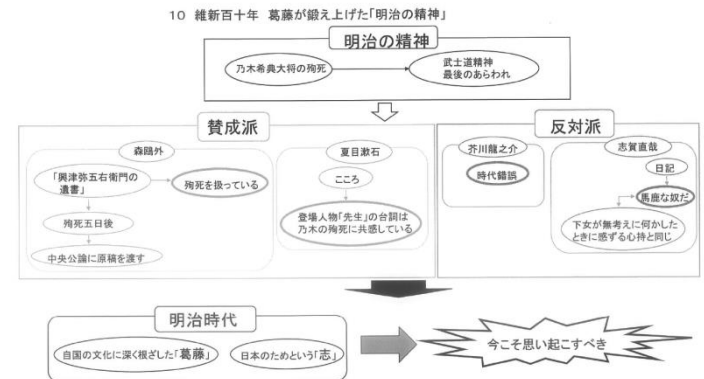
受講生数 平均 220 名

最終回のアンケート

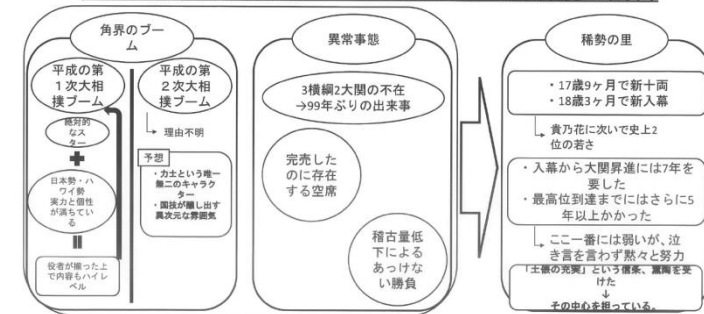
ビジネスコミュニケーションⅠ アンケート⑮180727 <講義を受けてどう変わりましたか?>

論理的な考えがある程度高められた。文書やデータの中から中心的なことをすぐ探することが上手くなった。まとめる能力も高められた。	構成力を身につけることができた。分りにくい文章も分かりやすくとめる自信がついた。自分に期待したい。	世界が変わった。これからの大学生活でも「図解」を活用していきたい。	図解を学んだ事により難しい文章も理解し易くなった。これから図解を使っていこうと思う。
就職や仕事で有利な作業効率を手に入れる事ができたと思う。	キーワードの関連性や関係性、俯瞰視点での見え方が分るようになった。	就活や授業でのプレゼンで活用できる。図解でノートをとることで分かりやすい。	文を読むことが得意になった。考える事が重要だと感じた。
考える方法が変わった。	図解が大好きになった。	長文を整理する力がついた。	図解ができるようになった。
図解を作ると分かりやすい。	文章を理解する能力が上がった。	分析力が上がった。物事の本質を見られる様に成長した。	論文やニュースなどの要点を見つけ、まとめる力がついた。
文章を読みながら頭の中で図解をするようにまとめることが出来る気がした。授業が終わっても継続していきたい。	最終課題の文章を読んでいるときに、自然と図解を考えられるようになり、成長に繋がったと感じた。	理解したことを分かりやすく、他者に見せることができるようになった。	新しい発見だった。自信になった。有意義な講義だった。
「頭の筋肉を鍛え、考える力を強化する」という言葉が心に響いた。	図解を描くことの難しさや楽しさ、文章を読み解く力など多く学んだ。	図解が書けるようになった。関係性を分かるようにするようになった。	文章を読む際、頭の中で軽く図解を描くようになった。
図で表現することにより、企業の考え、偉人が考えている事が図で表現出来る様になった。就活の際には図を利用したいと思った。	一回り大きく成長したように思った。他の人たちに負けない1つの力だと思ふ。この講義を受けて良かった。	図解するんだと思って文を読むと頭に入ってきた。文章を読む力がついた。長時間作業する力がついた。	言葉と言葉をつなぐポイントが分かった。文章を読む力がついた。長時間作業する力がついた。
今まで避けていた内容の文章にも慣れたので苦手意識がなくなった。	パワーポイントの図は自由度が低く逆に書きやすかった。	パワーポイントで図解が書けて良かった。	キーワードを図解でどうつなげるのかも解ってきた。
多角的な視点で物をとらえて見る事ができるようになった。	ペンで書くよりパワーポイントの方が早くやり直しが聞けるのでとても良かった。	頭の中の事を図解で整理できるように、悩みが減った。	この授業で自分の伝える能力が上がった。
文章を見るのが苦手だったが図解をすることによって理解しやすくなった。	まず物事を見る目が変わった。どんなことをするにも、全体像を見渡すことができれば問題解決がかなりし易くなる。	長文の読解力が上昇し、「まとめる」→「分る」というプロセスができあがった。	「俯瞰」の目を持つ。図解には個性がある。図解には正解がないという言葉で描きやすくなった。大きく成長できた。
図解の本質に触れ、無限大の可能性を感じた。大きく成長できた。「図解」で事業やプロジェクトのビジネスに生かしていきたい。「図解」は社会の課題や問題のソリューションとして活躍できると思う。	頭の働き方が変わった。	他の講義で活かせる機会が多かった。	講義を受けていなければここまでできるようにならなかった。非常にありがたい授業だった。
今後の学生生活や社会人になってからでも、大いに生かしていきたい。	図解を知り、こんなにも人に伝えやすくて見やすいものがあるのかと驚いた。	新しい特技を身につけて読解力が上がった。物事を図解にして考えるようになった。	図解を考えるのが楽しかった。
		自分なりに頑張れた。	図解に強くなった。

受講生のレポート



92 再びの大相撲ブーム稀勢の里大復活劇に刮目



学部(講義) 立志人物伝 (秋学期)

立志人物伝 (秋学期) ※

講義の概要:全15講

<第1講目>「近代日本のわが国の偉人たちのライフマネジメント」、<第2講目>「仰ぎ見る師匠の存在Ⅰ」、<第3講目>「仰ぎ見る師匠の存在Ⅱ」、<第4講目>「敵との切磋、友との拓磨Ⅰ」、<第5講目>「敵との切磋、友との拓磨Ⅱ」、<第6講目>「持続する志」、<第7講目>「怒涛の仕事量Ⅰ」、<第8講目>「怒涛の仕事量Ⅱ」、<第9講目>「修養・鍛錬・研鑽」、<第10講目>「飛翔する構想力」、<第11講目>「日本への回帰」、<第12講目>「人物モデルの人生鳥瞰図作成Ⅰ」、<第13講目>「人物モデルの人生鳥瞰図作成Ⅱ」、<第14講目>「人物モデルの人生鳥瞰図作成Ⅲ」、<第15講目>「人物モデルの人生鳥瞰図作成Ⅳ」

※授業名の変遷

2008年度～2010年度
マネジメントデザインⅡ

2011年度～2012年度
マネジメントデザイン論Ⅱ

2013年度
立志人物論

2014年度～2016年度
立志論Ⅳ

2017年度～2018年度
立志人物伝

受講生数

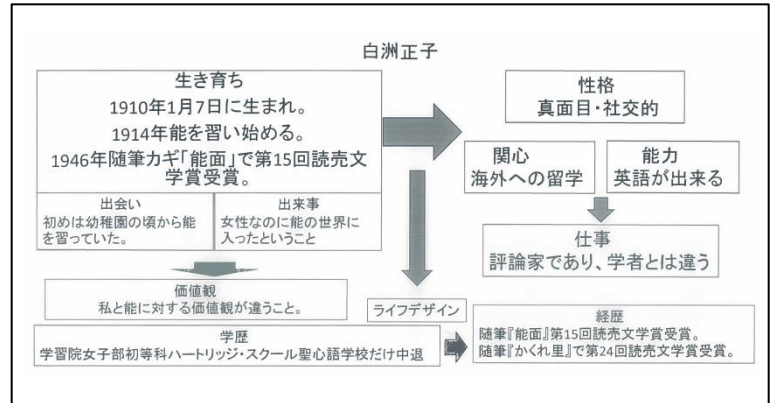
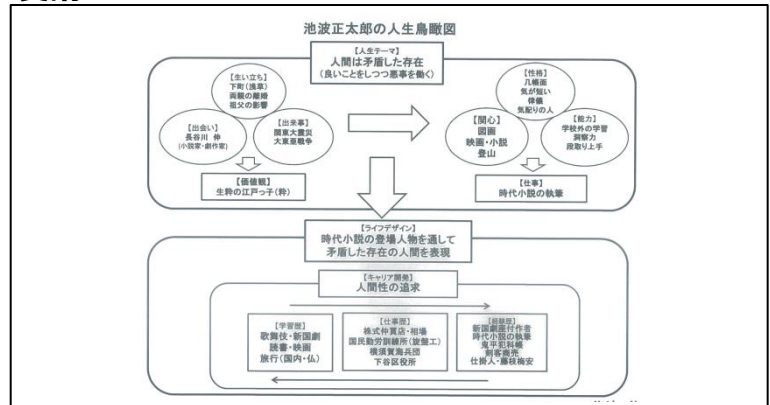
平均 **240** 名

アンケート

立志人物伝 アンケート⑮180123 <授業を受けてあなたはどうか変わりましたか・感想>

<タイプ1> - 自分がどのような人間か理解できた。 - 自身の志を再確認できた。最終レポートを書き終え人生の指針を決める礎とすることができた。名言に興味が高まった。 - さらに歴史が好きになった。 - 色々な人物に興味を持つようになった。目標となるものが見つかり、悩むことが少なくなった。 - 偉人の名言を聞いて、自分もそういう人間になろうと思え、変わろうと思う。 「みんな努力して頑張っているのだな」と思い、ぐーたらしていると「こんなコトしてる場合じゃない」と思えるようになった。 - 将来について深く考える時間ができた。	<タイプ2> - 自分の志が決まった。 - 偉人達の言葉を受け止め、自分なりの強い考えを持って生きたいと思った。 - 迷った時に、自分のロールモデルの人ならどうするか。と考えられるようになった。 - 将来ボーイズ・ジョーンズの様な人間になりたいと思った。最近では陽気な人間になろうと決心し、今では優しい人間へと変わったなと思う。 - 変わった事は3つある。1つ目は、歴史や偉人に興味関心を持た。2つ目はエニアグラムの存在を知れた。3つ目は、人物を図解することにより頭の中を整理しつつ理解を深めるという事が出来た。寺島学長を選んだ。 100歳を超えている人が多いことに驚いた。	<タイプ3> - 目標にする人ができたので良かった。 - 偉人から学んだ事を社会活動に活かしていく。	<タイプ4> - 日本の文化の成り立ちなどに更に意欲がわいた。 - 誰かをテーマにして人生を生きるの大切だと思った。 20歳になり人生の4分の1が終わった。一日一日を無駄なく過ごしたいと感じた。20代は積極的に行動したいと思った。	<タイプ5> 「学ぶ力」を得られた。 - 井伊直弼を調べている内に更に知らなかったことに触れ、より一層好きになった。 - どのように生きていくのか指標を見つけ出すことができた。 - 価値観が広がった。 - エニアグラムが好きになった。 - 坂本龍馬についてレポートを書いた。調べて図解したらその人について良く分かった。 - 目標にする人物を明確に分析することでさらに理解が深まった。 - 意識が変わった。 - 個人的に気になった人物を調べていこうと思う。 - 人物について図解することは新鮮だった。尊敬している人を見て、自分に活かせるところはなにかという考えを持てかけになる授業だった。	<タイプ6> - この講義のおかげで自分の人生を見つめ直すきっかけになった。 - 見習うべきものが増えたので楽になった。 - 考え方や価値観が大きく良い方向に変わることができた。エニアグラムは活用したい。この講義によって大きく成長できた。受講することができて良かった。 - 井伊直弼について調べた。知らずにいた部分を知れて良かった。 - 偉人の真似をする、ということ学んだ。 - 自己分析ができるようになった。 - 自分も何か世の中に役に立てような人になりたいと思った。 - アルベルト・アインシュタインは偉大。	<タイプ7> 4月から仕事が始まるが、辛いことや苦しいことがあるときは、ポジティブに物事を考えて、壁を乗り越えていきたい。 - 歴史に残った人物の話は、刺激的だった。	<タイプ8> 「人間は矛盾した存在(真いことと生つつ矛盾を働く)」 - 野口英世の様に努力して成功する人になりたい。 - お手本にしたい人を見つけることができた。 - 自分の人生について考える時間ができた。	<タイプ9> - 考え方や成した事を深く考えるようになった。自分の頭の中で図解も使えるようになった。 - 坂本龍馬についてレポートを書いた。調べて図解したらその人について良く分かった。 - 山あり谷ありを好む人間たちの話を聞くのが面白かった。 - 新しい表現法を見つけることができた。 - やりたいことを全力でやる。 - 行き詰まることがあったら、この講義で聞いた言葉を思い出したい。	<タイプ?> - ロールモデルを発見した。 - 興味を持つ幅が広がった。計画を立てて行動するようにになった。自分の興味、価値観、心がけを変化させることができた。 - 自分の人生を今からでも見つめ直してみようと思った。 - 偉人達が書いた本を読みたい。 - 自分の志が明確になった。 - 楽しい講義だった。 - 特別講座の解説もあり、復習の大切さを学ぶことができた。分析する力が、身についた。 - 自分の向き不向きが多少分かった。 - お年寄りの方とのコミュニケーションをはかる時にとても会話が弾むと思う。 - 偉人の言葉は、前向きになれる、背中を押してくれる言葉だった。 - 改めて言葉の大切さが身にしみた。 - 多くの偉人の尊敬する部分が見えた。 - ロールモデルと心を重ねていながら物事を考えるようになった。 - 白洲正子を取り上げた。 - 人に強い影響を与える人は偉人である。 - 偉人の言葉に影響を受けた。 - 来期もこのような授業があったら取りたい。
--	---	--	--	---	--	---	---	--	---

受講生のレポート



図解ゼミ

受講生数 1学年平均 20名

久恒ゼミ (図解思考塾)

多摩大学

現代の志塾
(志経営を学ぶ現代の私塾)

久恒ゼミ (図解思考塾)

志

—産業社会の問題解決の最前線に立つ人材の育成—

問題解決の武器

図解思考

全体
の
構造

部分同士
の
関係



■ゼミ活動報告書

2011年度

広報グループ発表資料
多摩手土産プロジェクト
東京ヴェルディ発表資料

2010年度

久恒ゼミ卒業論文

2009年度

多摩手土産プロジェクト～具体案と今後の狙い～

2008年度

旧多摩聖跡記念館プロジェクト

インターゼミ(社会工学会)

インターゼミ(社会工学会)は、現代社会の抱える課題について、学部・大学院・学年などをまたいで塾形式で切磋琢磨しながら、多様な要素や手法を組み合わせた柔軟な発想で、体系的・総合的な答を志向する総合設計力を身に付けることを狙いとして、2009年から始めました。

寺島学長主宰のインターゼミの総括教員として初年度から10年間、また、初年度から3年間は地域班の担当教員として牽引しました。

受講者数:	学部生・卒業生 大学院生・修了生	369名
	教職員	35名 (延べ156名)

担当した地域班の3年間の研究テーマ

2009年度：東鳴子温泉活性化に向けて都会の若者からの提言

(担当教授：久恒啓一)

フィールドワーク：宮城県東鳴子温泉「大沼旅館」

2011年度：震災と日本再生 東北グローバル・イノベーション(水産業)

(担当教授：久恒啓一・長田貴仁・木村知義)

フィールドワーク：宮城県東鳴子温泉「大沼旅館」、河北新報社、東の食福幸祭(国立代々木競技場)、東北「道の駅」大震災研究プロジェクト報告会(せんだいメディアテーク)、宮城県仙台市「浪分神社」、合同会社OHガッツ(宮城県石巻市雄勝町)、東日本大震災被災地視察(女川町、松島町)

2012年度：東北を活性化するコミュニティ形成：福島県平田村の事例

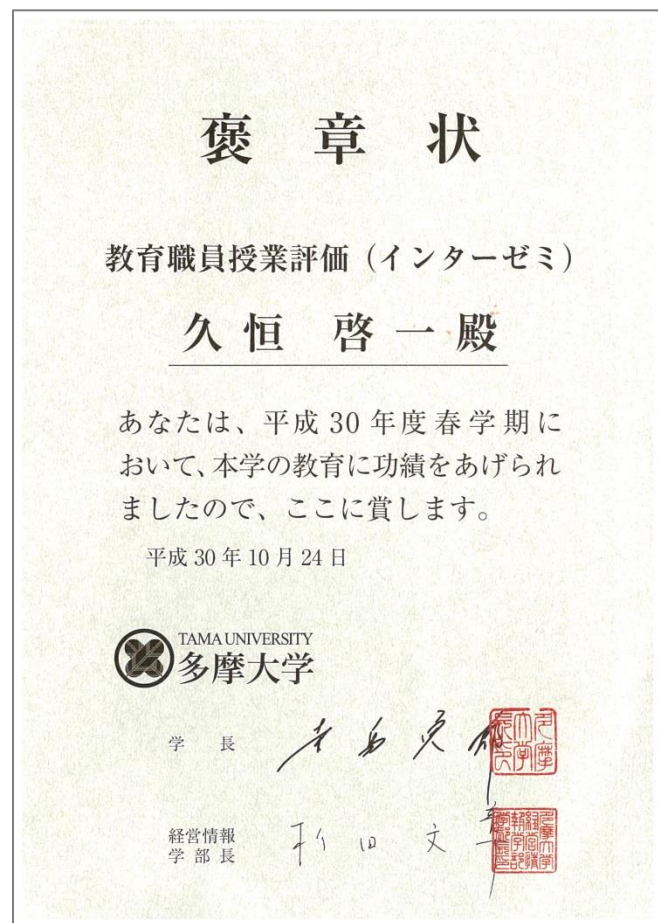
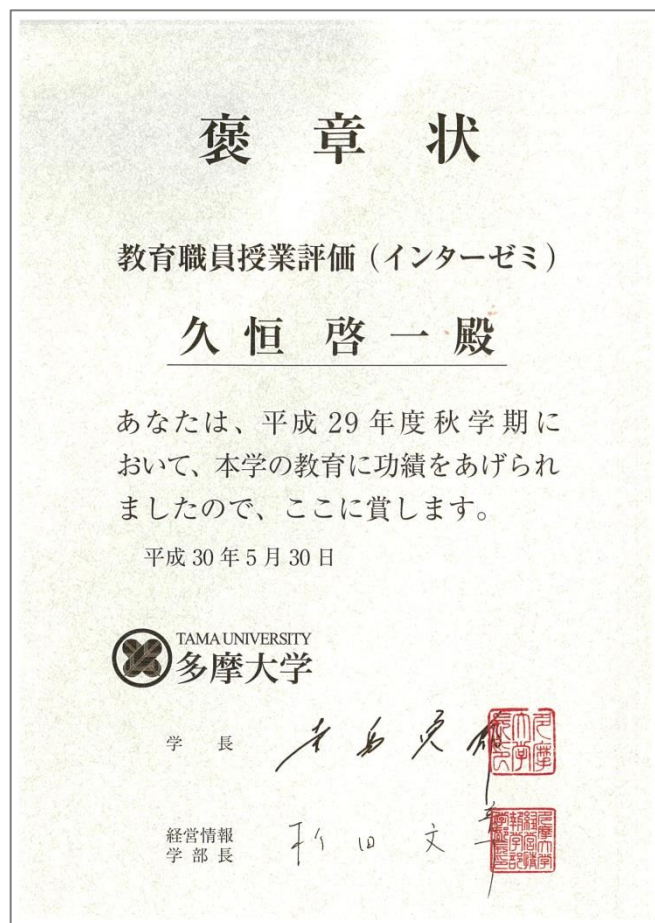
(担当教授：久恒啓一・長田貴仁・松本祐一)

フィールドワーク：道の駅「林林館」(宮城県登米市)、道の駅「上品の郷」(宮城県石巻市)、道の駅「あ・ら・伊達」(宮城県大崎市)、道の駅「三本木」(宮城県大崎市)、道の駅「津山」(宮城県登米市)、道の駅「路田里はなやま」(宮城県栗原市)、道の駅「ひらた」(福島県石川郡)、ジュピアランドひらた、若清水酒造株式会社(福島県石川郡)



インターゼミ(社会工学会)

2017年秋学期・2018年春学期に教育職員授業評価にて褒章を受けました。



大学院 経営情報学研究科(社会人大学院)

インサイトコミュニケーション ※ (春学期)

※授業名の変遷

2012年度～2014年度
図解コミュニケーション



2015年度～2018年度
インサイトコミュニケーション

最終回の受講生の感想

・最終回の講義で私の仕事について受講生の仕事について聞きました。それぞれ色々な仕事をしているのだと驚きました。また留学生は自分の生活について発表されみなさま苦労しているのがわかりました。私は自分の仕事について生活のために収入を得るための仕事、社会的活動をボランティアとして無報酬でしている仕事に分けてお話ししました。この講義は自分の考えを図解として捉えまとめるのに非常に有益な講義でした。ありがとうございました。

・図をいつ出すが勝負。・図の大きさ、矢印の太さ、色の工夫。・図解したうえで「私の仕事」を一文で表すと?。講義ありがとうございました。皆さんの図解を見ながらいろいろな表現の仕方を学びました。また、日頃の業務等でも図解でイメージしようと思うことが多くなりました。

・私の仕事について図にしたときにどうしても同じ業界目線がかいてしまうと思いました。何もわからない人にプレゼンする気持ちで表現すればさらに詳しく繊細なものが出来上がると実感しました。工作上、図で表現することが多いので本講義で学んだことを存分に発揮して生かして行きます。ありがとうございました!

・初めて見る人に向けてプレゼンする場合、皆さんが疑問に感じる点を図解に記載するという点は、論文発表にも通じるものがあるのかな。と感じ、勉強になりました。今回は情報を整理して削ぎ落とすことを意識しましたが、初めて見る相手の立場に立って考えて図解をする事で、一層分かりやすく作れたと感じました。ありがとうございました。

・みなさま約4ヶ月間ありがとうございました。図解は文章を要約し本質を掴むのにとっても有効だと改めて確認することができました。頭の整理にもなるので、これからも意識して使いたいです。実務でさらに磨いていきたいと思います。

・久恒先生、皆さま、8回に渡りありがとうございました。本日の最終講義では、図の大きさ、矢印の太さ、配置等の重要性を改めて理解出来ました。今後は、実務に積極的に使用していきたいと考えております。

・ご講義、ありがとうございました。織系のコンサルティングなので、表だって形式張った仕組みはないですが、人事含め、自社内をしっかり固めたいのが、1番の思いです。社内教育、イベント等を、充実させたいと思っています。1番のフォロワーの家族を太く、師匠も太く、でも、私が貰う分が、どうしても太くなるのだとうな、と感じています。私自身の人脈の範囲だけでなく、お客様のステークホルダー様含めて、円滑な経営を、お手伝いさせて頂きたいと思います。家族との時間はもちろんですが、社内では重要な、ホームパーティーです。以上。楽しい講義でした。ありがとうございました。

・皆様お疲れ様でした。最終課題は明日アップします。講義を通しての感想は、原点回帰。テクニクやうまく描こうとする意識は私にとっては邪魔なのだと分かり、「仮説」を立てて「感覚」で描き始めて、「昇華」させて行くことが重要なのだと再認識しました。良質な情報と知識のボリューム、すなわち「良質なインプット」と、「見る側のコミュニケーション」が極めて重要と思いました。本日感じるのは、「私の仕事」なのに大半の方が組織が中心にある違和感でした。この数年で会社という枠組みが弱くなり、個人に仕事がディペンデしていくと私は思っています。

ありがとうございました。

・久恒先生、最後の講義ありがとうございました。今まで、文章を読むスピードが速くなりました。ポイントを探す能力も高まってきました。他の授業でも、図解をよく使いました。本当にありがとうございました。きょう、日本での生活について、図解しました。2016年から今まで、2年間の自分をきちんと振り返って、多くのことを考え直しました。やる気も湧きました。やはり、たまに振り返ったら、最も自分自身に驚かされます。今学期、先生も、クラスメートの皆さんも、大変お世話になっておりました。本当にありがとうございました。

最終回の留学生の感想

・皆様 お疲れ様でした。第8回の講義でありがとうございました。今日は皆様の発表を聞いて、仕事について図解で伝えて貰って、分かりやすいと思います。先生の授業のおかげで、本当に大変勉強になります。ありがとうございました。

・久恒先生、授業、ありがとうございました。皆さんお疲れ様でした。インサイトコミュニケーションの授業を終了して、たくさんの美しい思い出記憶が残りました、先生から丁寧な教えてくれて、積極的に発表する意識をかきたてられました。私が図解が上手になる同時に、logicの分析する能力も上達しました。日本の方々の知識を得ました。仕事をしていない私が自分の将来のビジネスに関する内容、モバイル時代にo2oの技術を活用する観光事業戦略の発想を描きました。伝統的な観光業は、従来の店舗展業から、ネットワークでchart事業に変わって、データの利用をして、競合と多角化産業の発展について図解しております。30分の電車口に乗った時間を利用して出来ました、先生から色々な教えていただき、ちょっと進歩しました。

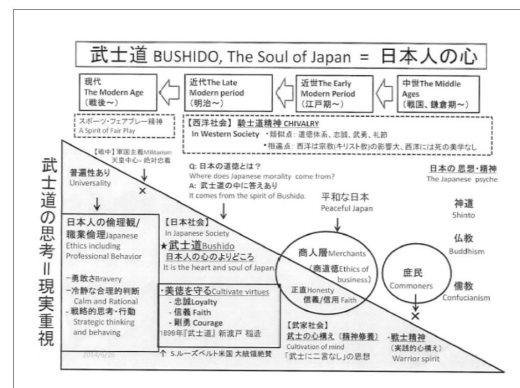
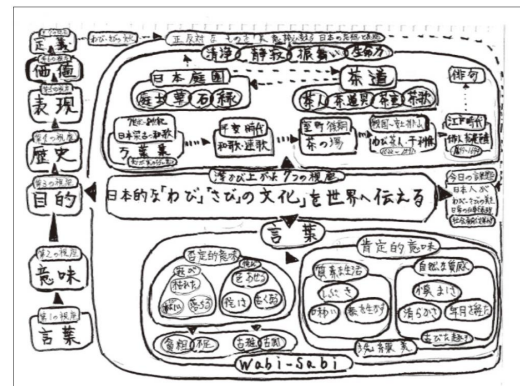
講義の概要:全8講 各180分

〈第1講〉図解コミュニケーション概論、〈第2講〉私の仕事、〈第3講〉政治、〈第4講〉経済、〈第5講〉図解文章法、〈第6講〉文化、〈第7講〉選挙公約、〈第8講〉日本の論点

受講生数

平均 16 名

受講生のレポート



大学院 経営情報学研究科(社会人大学院)

立志人物論(秋学期)

講義の概要:全8講

<第1講>「近代日本のわが国の偉人たちの志と生涯から学ぶ」(総論)、<第2講>「仰ぎ見る師匠の存在」、<第3講>「敵との切磋、友との拓磨」、<第4講>「持続する志」、<第5講>「怒濤の仕事量」、<第6講>「修養・鍛錬・研鑽」、<第7講>「飛翔する構想力」、<第8講>「日本への回帰」

受講生数

平均 12 名

2017年度フィールドワーク「渋沢史料館」の感想(日本人)

・渋沢栄一は幕末、明治、大正、昭和を生きた人である。まず最初に驚いたのはそのバイタリティーである。現代の普通人の何百倍の仕事をしていた。我々現代に生きる普通人から見ると広大な敷地の屋敷に思われるが、その当時の裕福な著名人の中ではそれほど広大な敷地の屋敷ではなかったそうです。それはその人格にあると考えました。目的は金銭ではなく、尋常でない社会に対する興味がありそれを知り企画、開発、実行という有言実行能力にあります。その結果は、彼の残した名言の<思い通りにならないことが普通><長所を生かして自分のレールを救こう><成功や失敗は身に残るカス><現状維持にはリスクが潜む>に現れている。常に失敗を乗り越え前に進む気力。現状を守ることはすでに後退で常に将来を考え前に進む姿勢と生き方がにじみ出ている。結果として現在も社会の基盤となっている組織、学校、会社のほとんどが彼が手がけたものであることが実証している。今の日本を作った人物である。そして90歳過ぎまで現役で仕事をしたことは尊敬され、自分の目標になる偉人であります。

本日は思い出に残るフィールドワークをありがとうございました。以外本日の振り返りです。渋沢栄一。これまで名前は知っていたがこれほど偉大な業績を残した人物であるということは知らなかった。今回史料館を見学して印象に残った2つキーワードから感想を述べる。

①「道徳経済合一説」。これはまさに渋沢栄一の哲学を表現した言葉だと感じた。道徳と経済。これは今も相反する言葉だと捉えられているように思う。特に現代の激しい競争社会では、利益のためには手段を選ばない、他者の不利益など顧みない経営が横行するように思う。そして、それが行きすぎた結果不祥事というかたちで表面化しているのだと思う。そんな時代だからこそこの渋沢栄一の哲学は心に響くものがあった。渋沢栄一は数多くの会社を興したが、どの会社の起業についても、それは儲かるのか？という発想は全く感じられなかった。渋沢栄一が興した会社は、それは世のため、人のために役立つのか？という発想が全ての出発点にあると感じた。人には人徳があり会社には社徳がある。その徳について自らの行いや職業人としてのあり方を改めて考える直す機会となった。

②「社会事業」。渋沢栄一は経済活動だけでなく社会事業の発展にも注力していた。特に明治5年に生活困窮者や高齢者を対象にした養育院を開設しその初代院長に就任していたことは驚きであった。私の勤務する法人は明治44年の創設であるが、その約40年前から先駆的な取り組みをしていたことになる。さらに驚いたのはその時の渋沢栄一の年齢である。西暦で計算すると32歳の若さで初代院長に就任していることになる。社会的に成功を収めた方が社会事業に関わりを持つのはよくあることだがそれは晩年になってからが一般的のように思う。このことから渋沢栄一の徳と人望の厚さを感じた。

最後に今回実際に史料館を訪れたが、やはりただ本を読むだけでは感じられない部分に触れられたように思う。渋沢栄一が生活した空間に身をおいたり、本人が実際に書いた文字に触れることによってその場の雰囲気やぬくもり。そして、その人となりをさらに深く感じることができた。また、史料館スタッフの方との会話も史料館を訪れることで得られる醍醐味のひとつだと感じた。以上になります。久恒先生、受講生の皆様約半年間ありがとうございました。今日は多くの偉人や著名人が訪れるお店でお酒が飲めて楽しかったです。人物記念館訪問では思いがけず家族との楽しい思い出をつくることもできました。これからも偉人たちの言葉を胸に刻み、自分の人生を歩んでいきたいと思います。大学院生活はまだあと一年ありますので今後ともよろしく願いいたします。

久恒先生、本日の最終回、フィールドワークありがとうございました。渋沢栄一について。凄い人だとは知っていましたが、具体的に何をしたかとまでは今まで答えられなかったです。ですが、渋沢栄一は今の日本を作った人だと言っても過言ではないと思います。多くの大企業を手がけてきた渋沢栄一は日本型経営の神様であると思うが、しかしそれだけではなく、病院や学校にも尽力を注いできたエネルギーは凄まじい。特に教育に関しては、女学校や商業学校、現在の教育の礎を作ったと感じられました。また方からは、岡本太郎も通った歴史あるお店でお酒を飲み交わす楽しい時間。全ての講義に休まず出席することができたが、MBAコースを学ぶうえで大切な志を偉人から学ぶことができ、何よりとても楽しい全講義でした。改めて、久恒先生、講義で一緒だった皆さん、ありがとうございました。

「偉人達の記念館は追体験の場。」立志人物論の講義では、偉人達の遺した言葉を紐解いて来ました。時に、インタビューの光景を動画で見る事もありました。それはそれで、極めて高い学びを得る事が出来ました。しかし、実体験ではありません。人は経験する事によって、学びを心に刻み込み、後々の糧とします。偉人達の遺した言葉は、素晴らしいものでし、心に響きます。しかし物故者ゆえに、残念ながらそのエネルギーを直にリアルに感じる事は不可能です。素晴らしい絵画を、美術館で実際に観るのと図録で観るのでは受けるインパクトが全く違いますよね。やはり、実体験してみたい。その時に、本日のようなフィールドワークがとても役に立つのだと思います。記念館や〇〇館というのは、その建設に携わった方々の主人公への強烈な「思い」がエネルギーとして込められていると思います。当然、展示物も主人公の「思い」や「志」を的確かつ強く現すものでしょう。テキストベースで学んだ後に、その「強い思い」のエネルギーの中に入り、主人公が生きた時代へタイムスリップする。そして主人公の生き様を追体験する事で、あたかも自分が経験したような学びが得られるのではないかと思います。現代は混沌と行き詰まりの様相を呈しています。こんな時こそ、温故知新。偉人達の遺した言葉が、より生きてくのではないのでしょうか。とても意味のある深い講義だったと思います。久恒先生、ありがとうございました。

久恒先生、最終回もありがとうございました。渋沢栄一は授業で勉強した人ですけど、そんな偉い人と思わなかった。しかし、今回は渋沢記念館に訪問して、印象が全く違うのです。この人は人類ですかなと疑問が心から生み出します。渋沢栄一作った、または創設に参加した企業はほとんど残っています、さらに半分以上は今の大手です。日本全ての業界、五百以上の企業に仕事していた。そんなに多くの仕事量は天才までできないと思うが、渋沢さんが90歳までやっていました。一人で日本経済を救った。神様のような何でもできる人間と感心しています。仕事量だけではなく、頭の中の思想と知識も僕を感心させます。日本の伝統教育、或いは社会暗黙知と違う、始めて女子大学を創設しました。道徳と商学の学問、博物館の推進、特別な発想など、全部が社会の先頭になって、人々を感心させる。亡くなった時、天皇陛下が自ら書類を作って弔問しました。その全部、今まで渋沢栄一しかいないと思っています。今度は渋沢栄一さんにもっと深い印象が残ります。そんな偉い人になるのは無理だと思いきと、少しだけ接近したい、自分が努力しなければならぬ。

【第15限: フィールドワーク@渋沢史料館+岡本太郎が通った居酒屋】。My Heroの1人として、「人物記念館訪問レポート」で彼をとりあげるため、所感で人物については触れず。フィールドワークは民間外資時代に国内外で時折実施した調査技法である。テーマに即した場所を実際に訪れ、その対象を直接観察し、現地で史料・資料の採取、関係者に聞き取り調査などを行う。昨日はクラスメンバーで同じ空間に同時時間滞在し、一人の生涯について学んだ。学生や統率の久恒先生の関心は異なれど、晩香廬や職人技に脱帽の青淵文庫を見て、史料館内では感想・意見を共有し合い、渋沢氏への理解が深まった最終講であった。放課後のワイガヤや打上げと近隣に鎮座する烏森神社の礼拝も楽しい思い出になりました。社会人大学院のためデイトタイムにメンバーでフィールドワークは難しいですが、週末を利用するなど今後も有意義な課外学習の機会を増やしてほしいと思う。今期お世話になりました皆さん、ありがとうございました。

大学院 経営情報学研究科(社会人大学院)

立志人物論(秋学期)

2018年度フィールドワーク「漱石山房記念館」の感想(留学生)

・今日の第八回立志人物論は、field の授業形式で、先生は皆さんを夏目朔石大文豪の記念館朔石山房に連れて見学していきました。朔石山房とは作家、教育家、画家と身に付く大文豪夏目朔石先生の?年の住所であり、生まれた朔石坂の遠くない街であり、「三四郎」「こゝろ」「道草」など名作を世に送り出し、門下生たちがあつ「木曜会」と言う文学サロンである。丸内線早稲田口徒歩10分ほどの道のりである。初めてfieldworkの授?形式偉人記念館へ見学して行って、先生から指導されて個人より皆さんと一緒にgroupで深い学習指導の意味を持っている。半日の見学活動をかけて、夏目漱石先生新たな発見いただきまして、彼の生き方を感動された。、名作中の名言や格言に触れ、感銘を受けた経験になった。漱石山房の一階の展示区では、夏目先生が生前読んでいた、膨大な数量の本をもっと展示されています。私が深く感じさせてくれたのは、大人物になると必ずつつましい知識の汲み取りで育ったの必要である生涯展示区、夏目先生生まれたから、最後まで「生きたち」「出会い」「出来事」「性格」「能力」など6つ偉で夏目漱石先生49年の人生が略介されて頂いて、夏目先生がたい好きの動、植物の紹介していただきまして、漱石山房今のデザインが猫文化を含まれた理由を承知しました。それは夏目先生の「世の中に好きな人段々なくなります、そして、天と地、草と木の美しく見えます、事にここの頃の春の光には花は大好きです。私はそれを頼りに生きています」という名言は夏目漱石の生活態度を表したと思う。二階の階段の入り口で、この山房に大きな貢献をした人の名前記念碑がそびえ立っている、surprise になるのは久恒啓一先生の名前を見つけた。さすが久恒啓一先生は漱石のfan だ。「吾輩は猫である。まだ名前はない。」という、最も有名な冒頭を記した大正時代に活躍した日本の文豪であり、日本人には親しみのある文豪の夏目漱石さんと出会いの偉人達のvalueに驚いている。私がきになるのは中国で一番有名な文学者、思想家、作家など身に付く?迅と言う大名だ、小学時代の私は?迅は日本へ医学専門の留学ただ、医者の身分を通して世の中の人々の体を治すpower より全民の脳中の思想を治すことの価値があると考えまして、中国へ戻って国民の思想意識を呼び起こす覚悟を生み出した作品を大量生み出した。今日の見学を通じて、魯迅先生も夏目先生の忠実なファンであり、その時代の背景の下で夏目先生の影響を受けて自分の人生の軌跡を変え、手術刀を置いて代わりにpenを持って、当時の中国国民に大きな意味の影響を与えたと承知した。だから夏目漱石先生の短い49年の人生はどのくらい人に影響したかという、どのくらいの時が先生の影響で変わった、それこそ夏目漱石のreally power だと考えました。見学活動を終ると本学期の久恒啓一先生の立志人物論講座を終了されましたが皆さんと一緒に勉強した時間本当に楽しかった、日本の歴史をあまり触れなかった、最初に志の意味全然わからない私なりの人は、この講座通じて、生きているpowerを見つけた、lucky より幸福の感じを身につけた、背中隠している翅を生まれた、立志人物論講座で大人物達の志を習いまして、いつでも善い目的を持って、遠大な目標を決めて、勇気を出して、止めない行動して、折れない心を温めて、check-selfの自覚性を忘れず、未来は私の人生を飛べると信じになる。久恒啓一先生、日本人先輩方、留学生の皆様皆さんと一緒に outcomes してくれて心から感謝しております。16:30から、20:00まで続いた懇親会、皆様お互い交流をして勉強して、。師匠との隔たりの緊張感がなくて、所々として話して、とても楽しかった。終了しても皆様と一緒になかった時間を脳中で浮きまして、行きなり悲しい感じを湧きました。本学期の立志人物論で素晴らしい皆様真面目で勉強しての精神を感動されて、柏谷先輩のような真面目精神を尊敬して、留学生の私は増す増す日本を好きになって、これから、記念館へ訪問することを通して旅行の計画したいと考えたが、このgroup は一番良い交流社区だと思う解散したくないが、先生と皆様に解散しない意見を提出して、皆様から一致同意されてありがとうございます。酒向先輩今日の懇親会誘ってくれてありがとうございます、まだ次回皆様と一緒に偉人記念館のfieldworkを楽しみして。

・本日の夏目漱石記念館の見学は楽しかった。山房の書斎再現展示はかなりリアルです。10畳のスペースには付箋のある書籍がぎっしり積まれました。また、「移竹楽清陰」の自書が掲げられて、「竹を移植して清らかな陰を楽しむ」と説明いただきました。再現した書斎を見ると、夏目漱石宅で、漱石の教え子や漱石を慕う若手文学者が集まって、さまざまな議論をした木曜会も生々しいです。さらに彼の名言を読んで、原稿を見て、夏目漱石をもっと深くわかるようになりました。この講義を通して、様々な偉人のことを知り始めました。留学生として、特に日本で働くもの人にとって、非常に役に立ちました。さらに、彼らの思想を学ぶ上で、新しい自分を作ろうにしました。日本人のクラスメートがいつも丁寧にわからないことを説明してくれて、本当にありがとうございました。孫さんが言うように、このグループは永遠に解散しないように。ありがとうございました。

・最終回授業で記念館に見学を行ったありがとうございます。今日、風邪をひいたため、懇親会は欠席で申し訳ございませんでした。今回は漱石山房記念館に第2回目で訪れました。前回より、いろんな細かい所を新たな発見を頂きました。例え、夏目漱石の「木曜会」をおける生徒又は友人との繋がり。記念館後ろ公園では「我輩猫である」主人公猫の墓を設置しました。更に、一番喜ぶ発見は記念館施設整備基金 寄付者御方名リストには、先生の名前を見つけた。夏目山房記念館の見学は本当に良いイベントと思いました。秋学期全8回の講義を通じ、各種テーマで偉人たちの人生を振り返り、毎回学びの多い講義となりました。毎回には、日本人先輩たちいつも優しくて留学生たちに説明をしたり、ディスカッションを行ったり、日本の歴史または偉人について認識をもっと広げて、深く勉強になりました。本当に心から感謝しました。

・今回は夏目漱石の記念館を見学しました。夏目漱石は中国でも非常に有名な人でした。そして、記念館は公園と一緒にあって、コーヒーショップもあり、外観見るとオシャレも感じました。授業中も夏目漱石の作品を紹介しましたが、今回は夏目漱石が晩年を過ごした旧居に訪ねて、書斎も再現されたことに感動しました。先生は記念館の設備整備基金寄付者に名前を載せたことが凄いなと思います。将来自分もこのようなことを目指しています。日本の歴史文化あまり知っていません私は、この学期8回の講義を通して、沢山の偉人の事績と思想を勉強になりました。毎日に日本の方とディスカッションして、いろんな立場から、講義の内容を理解できます。しかし、8回の講義はまだ足りないと思います。これからも日本の歴史について続けて勉強します。

・第8回は夏目漱石記念館に行っていだいて、大変勉強になっていると思います。夏目漱石の生涯を詳しく分かるようになってきました。夏目漱石の名言は沢山見つけました。「熊本より東京は広い。東京より日本は広い。日本より頭の中の方が広いでしょう。」「世の中にすきな人は段々なくなります。そして天と地と草と木が美しく見えます。ことにこの頃春の光ははなはだ好いのです。私はそれをたよりに生きています。」「記録して下さい。私はこいな風にして生きて来たのです。」「自分がそれだけの個性を尊重し得るように、会社から許されるならば、他人に対してもその個性を認めて、彼らの傾向を尊重するのが理の当然になって来るでしょう。」「上記の名言は大体 大正、明治時代に書いていました。また、素晴らしいことは記念館施設整備基金寄付者リストには先生の名前を見つけた。最後の講義は日本人の偉人の夏目漱石記念館に見学に行ったり、先生と皆さんと一緒に懇親会に参加したりするので、自分の知識が広くて、大変楽しかったと思います。心から本当に感謝したいと思います。先生 ありがとうございます。皆さん お疲れ様でした。これからもよろしく願い致します。

・最終講義ありがとうございました。高校時は教科書の中で魯迅から夏目漱石のことを知りましたが、今回ようやく夏目漱石の記念館に行きました。西早稲田駅から降りた後、5分ほど歩いて、すぐに漱石山房記念館を見えました。この間の道も漱石く吾輩は猫であるの猫の飾りがあり。記念館の外観は現代的な建物だと思いますが、300円のチケットを買って、中に入ると「漱石山房」の一部、書斎・客間・ペランダ式回廊を再現するミニチュアが見えます。ここで漱石を創作時の場面と若手文学者が集まりの「木曜日」の場面も完璧に再現していました。中は外観と全然違うデザインで、昔の日本の部屋と現代的なものを併せて、とっても素晴らしいと思いました。案内係の者から聞くと、この山房作るも結構悩んでいました。山房の広さについて、漱石の息子と「木曜日」の文学者の意見が違っていたからです。幸い、安井曾太郎の「麓の町」の絵で当時部屋の広さ、大きさを推測出来ました。壁の書道「移竹楽清閑陰」(竹を移植して清らかな陰を楽しむ)の自書が掲げられて。書斎を出で前に進むと記念館施設整備基金寄付者御方名の看板があります。そこで先生の名が見つかりました。2階を進むと「吾輩は猫である」の草稿、「坊ちゃん」冒頭の草稿、「文鳥」、「夢十夜」も見えます。ここで最も目を引いたのは、部屋着としていた長襦袢です。外に出ると夏目漱石の記念像と猫の墓があります。2時間くらいの参観はとっても面白かったです。夜帰りの途中、夏目漱石誕生の地の石碑が発見しました。今学期は沢山の偉人のことを勉強しました。心から先生と優しい日本人のクラスメイトたちに感謝します。

・本日の見学は漱石山房記念館に行ってきました。東西線「早稲田駅」1番出口で口より歩いて10分間で到着しました。新宿区に夏目漱石の生誕150周年を記念として開設した記念館です。夏目漱石「道草」草稿、夏目漱石「ケーベル先生の告別」原稿、夏目金之助(漱石)夏目鏡子宛書簡、津田青楓 画讃「漱石先生像」、「漱石山房書斎再現」が展示されています。一番印象に残ったのは漱石が晩年9年間を過ごした漱石山房書斎の再現です。夏目漱石はこの小さい部屋で「三四郎」、「道草」など数々の名作を作り出しました。客間では週1回木曜日に「木曜日会」と呼ばれる文学サロンが開催されます。漱石を慕う若い文学者たち(安徒能成、小宮豊隆、鈴木三重吉、森田草平など)は漱石と自由な雰囲気作品を議論します。日本人が夏目漱石を尊敬する理由、夏目漱石は世界にも影響を与える理由の一つは多くの門下生に助言をしまして、多くの作者志望者を育てたことだと思います。夏目漱石の名言「月が綺麗ですね」は中国にも響いています。ロマンチックな愛の言葉として非常に有名です。「I LOVE YOU」を「あなたを愛しています」と訳さず「月が綺麗ですね」と表現することは夏目漱石の感性や人間性を感じています。夏目

授業評価アンケート:「あなたにとって有益(効果的)でしたか」(5点満点)

多摩大学

大学院

インサイトコミュニケーション

5.0点 (2017年度)

4.5点 (2018年度)

立志人物論

4.5点 (2017年度)

4.1点 (2018年度)

学部

ビジネスコミュニケーション I

4.19点 (2017年度)

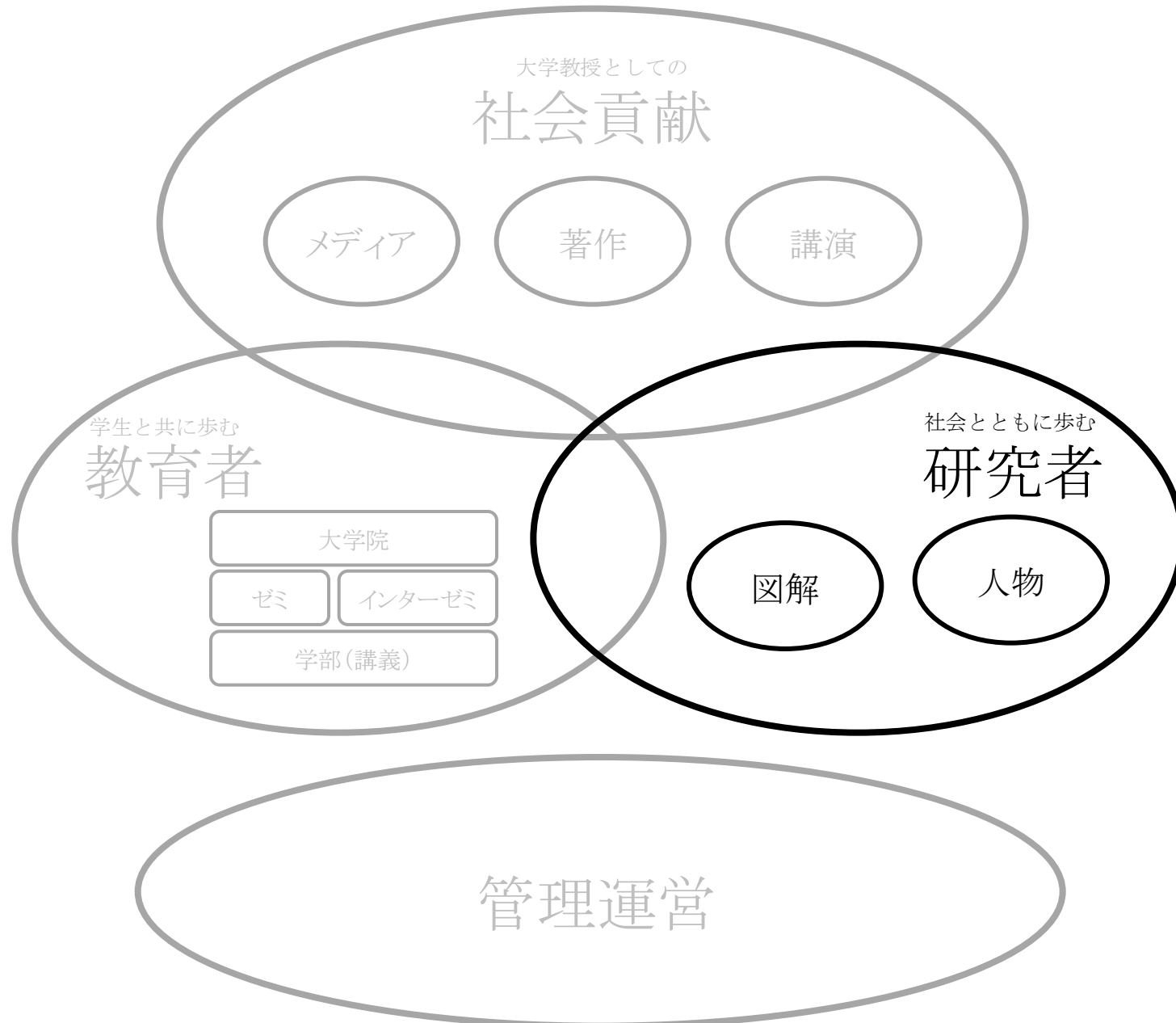
4.04点 (2018年度)

9年間平均:3.9点

立志人物伝

4.02点 (2017年度)

8年間平均:3.6点



図解コミュニケーション:個人ビッグデータとしての図解WEB

1999年2月に開設
自分のあらゆる活動を「図解WEB」で蓄積し続けてきました。

私自身のデータが蓄積された図解WEBは航空母艦、
フロー情報を発信するメルマガやブログ、Facebook、Twitter等のSNSは戦闘
位置づけになってきました。

累積訪問者数:2,978,384ヒット(2019年2月28日現在) 300万ヒットまであと1歩!

久恒啓一 (多摩大学教授) 日本人のアタマの革命 (図解コミュニケーション)・日本人のココロの革命 (人物記念館の旅)...

久恒啓一 図解WEB

来訪者 累計2966227 本日0236 昨日0529

Google start.me Reminder365

プライベート Podcast NPO法人 知的生産の技術研究会

社会貢献 著作 時系列 著作一覧 準備中 講演 講演の予定 講演依頼 過去の講演

メディア MEDIA CLIPPING 最新 予告 取材依頼 電子書籍・オーディオブック 社会貢献 中央省庁・県・市町村の委員など

久恒サロン 皆様との交流の場です。 YouTube note facebook 5000日連続毎日更新中 今日も生涯の一日なり 読書メーター 社会と共に歩む 研究者

教育者 多摩大学 運営 大学院 インサイト コミュニケーション 立志人物論 開講中 ゼミ インターゼミ (社会工学研究会) 開講中 講義 ビジネス コミュニケーション 立志人物伝 開講中

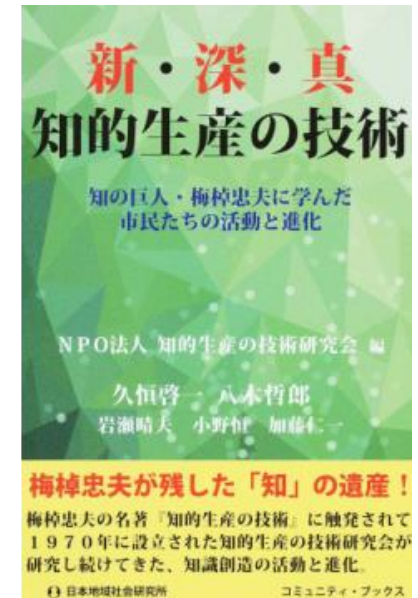
情報源 鳥瞰版 教育者 研究者 社会貢献 キャリアデザイン ネットワーク プライベート

性格タイプ診断

南大沢駅 堀之内駅 永山駅

更新情報 センター試験二日目。

Copyright (C) 1998- 2019 久恒啓一. All Rights Reserved.



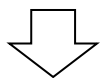
Web時代の思想と実験と成果については、「新・深・真 知的生産の技術」(2019年3月発刊)で詳しく触れています。

この図解WEBは、梅棹忠夫先生が名著「知的生産の技術」で提案する「個人情報館」です。

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス) ①

①ブログ：今日も生涯の一日なり：毎日更新

連続更新記録：5245日(2月28日現在)



ブログ本「今日も生涯の一日なり」(2004年～)



②メルマガ：久恒啓一の「学びの軌跡」：毎週月曜発刊

発行号数：1167号(2月28日現在)

久恒啓一の「学びの軌跡」——2019.01.28
久恒啓一図解Web <http://www.hisatune.net>
ブログ「今日も生涯の一日なり」
<http://d.hatena.ne.jp/k-hisatune/>

おはようございます！
先週、メルマガが出せなかったで、2週間分です。

「月刊高校教育」に拙著の素晴らしい「書評」をだしていただきました。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/15/000000>

1月14日よりポッドキャストの音声講座『ビジネスに活かす偉人の名言』を開始。
試していただくと幸いです。<https://meigen.koelab.net/>
塚本幸一。浪越徳次郎。笹崎龍雄。鬼塚喜八郎。

◎「名言との対話」(平成命日編)を書くために読んだ本。
真藤恒「習って覚えて真似して捨てる」
藤村俊二「オビョウのジジ通信」
安部ねり「安部公房伝」
西部邁、澤村修治、浜崎洋介「西部邁 最後の思索「日本人とは、そも何者ぞ」」
柴田トヨ「百歳」
趙紫陽 権利回想録 天安門事件「大弾圧」の舞台裏！
香山五郎「非常識の発想」
夏木陽介「男がひとりである理由」

以下をクリックしていただくと嬉しいですよ。毎日書いているブログです。

- 2019-01-27 午後はサテライト入試。夜は「いであん」、「古典芸能への招待」は能「卒塔婆小町」。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/27/000000>
- 2019-01-26 インターゼミ(社会工学会)の打ち上げ懇親会。サテライト入試初日。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/26/000000>
- 2019-01-25 知研セミナー「ポッドキャスト」(代々木)。大学運営委員会(九段)。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/25/000000>
- 2019-01-24 SRC(学生研究発表会)。大学院運営委員会。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/24/000000>
- 2019-01-23 京西テクノス株式会社を見学ーメンテナンス業への業態転換。スピード成長。IoT。グローバルトップニッチ企業。利益率10%へ。オープンな人事方針。コミュニケーション重視。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/23/000000>
- 2019-01-22 退任記念講義の受講生の感想のまとめ。屋は兄弟会。午後は出版社で新刊の打ち合わせ。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/22/000000>
- 2019-01-21 ポッドキャスト「ビジネスに活かす 偉人の名言」の2月分の収録。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/21/000000>
- 2019-01-20 センター試験二日目。
<http://k-hisatune.hatenablog.com/entry/2019/01/20/000000>

SNS(ソーシャルネットワーキングサービス) ②

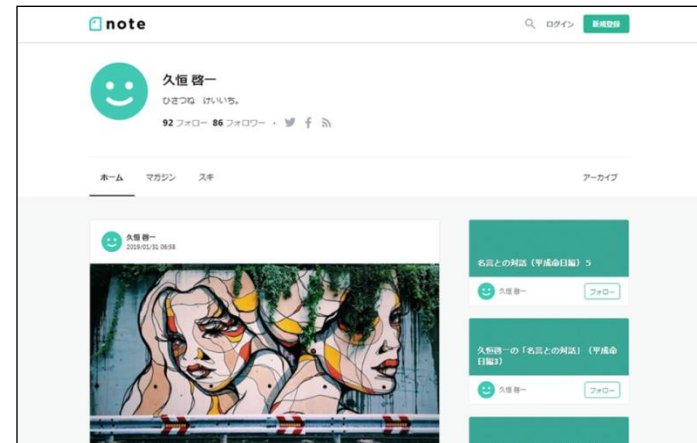
Twitter

2009年7月28日にスタート フォロワー数:2,414



Note:人物と名言を毎日配信

2016年1月1日にスタート フォロワー数:96



Facebook

2008年10月4日にスタート 友達:1,521人



Facebookファンページ

2010年12月16日にスタート いいね!:803人



映像・音声での配信

多摩大学インターネット放送局 T-Studio:YouTubeで2番組を配信

久恒啓一の「名言との対話」 (学生・教員との対談)

2016年4月29日からスタート:35回



トレンドウォッチャー ～時代の波がしら～ (橋川幸夫客員教授・久米信行客員教授との対談)

2016年6月6日からスタート:12回



偉人の名言:音声配信サービス「Podcast」で2番組を配信

偉人の名言366～命日編～ 2018年1月1日にスタート 毎日朝配信



偉人の名言366～誕生日編～ 2019年1月1日にスタート 毎日夕方配信



ビジネスに活かす 偉人の名言 2019年1月1日にスタート(有料) 毎週月曜配信(週1回)



～番組で取り上げた偉人一覧～
1月14日 ワコール創業者 塚本幸一
1月21日 指圧療法創始者 浪越徳治郎
1月28日 アシックス創業者 鬼塚喜八郎
2月4日 サイボクハム 笹崎龍雄
2月11日 海軍軍人 秋山真之
2月18日 小説家 山本周五郎
2月25日 発明家 安藤百福
3月4日 漫画家 手塚治虫
3月11日 歌人 斉藤茂吉
3月18日 政治家 勝海舟
3月25日 林学博士、造園家 本多静六

両番組では声優を起用しています。

登録者数5,000名(2019年2月28日現在)

累積ダウンロード数:40万ダウンロード

30分のインタビュー番組です

人物論 ～人物記念館の旅①～

訪問記念館数：2004年から850館を突破！

宮城大学時代
215館

+

多摩大学時代
644館

2008年（40館）

大野弁吉、中川一郎、葉祥明、錦木清方、ピカソ(企画展)、金田一春彦、今井邦子、島本赤彦、原田泰治、平林たい子、藤原咲平、新田次郎、宮脇俊三(企画展)、五島慶太、村野四郎、太宰治、岡本太郎(川崎)、小杉放菴、二宮尊徳、フェルメール(企画展)、吉川英治、川合玉堂、高木栄子、与勇輝、牧野富太郎、植村直己、白洲次郎・正子、林芙美子(東京)、手塚治虫、川端康成、松下幸之助、与謝野晶子、ジョン・レノン、小泉信三、昭和天皇、明治天皇、宮城まり子、吉行淳之介、東山魁夷(企画展)、夏目漱石(企画展)

2009年（53館）

安井曾太郎(企画展)、今井兼次(企画展)、久世光彦(企画展)、森繁久彌(企画展)、小幡篤次郎、根津嘉一郎、関口雄揮、有島武郎、渡辺淳一、おおば比呂司、本郷新、三岸好太郎、二宮尊徳、西村京太郎、中川一政、西田幾多郎、銭屋五兵衛、中川一政、田河水泡、松尾芭蕉、ゴーギャン、柳宗理、ペリー、ヴェルニー、長岡半太郎、若山牧水、中里介山、小島善太郎、赤塚不二夫、大山由之、エドウィン・ダン、尾崎行雄、岸田劉生(企画展)、戸田城聖、原三溪、久米邦武・桂一郎、松本清張(企画展)、牛島憲之、中村雨紅、前田真三、堂本印象、岩倉具視、永瀬義郎、湯浅八郎、いわさきちひろ、賀川豊彦、松本清張、森鷗外(九州)、加山又造(企画展)、熊谷守一、福沢諭吉(企画展)、平櫛田中、中村研一

2010年（76館）

三島由紀夫、平木信二、葛谷重三郎、ピカソ、ヘンリー・ムーア、鈴木常司、アンリ・ルソー、サン＝テグジュペリ、鶴岡貞男、松永安左衛門、中川与一、大倉喜八郎、小林一三、藤田伝三郎、鑑真、住友吉左衛門友純、大倉喜八郎・大倉喜七郎、菊池寛実、畠山一清、原邦造、岩崎弥之助・岩崎小弥太、太田清蔵、仙がい(企画展)、上村松園(企画展)、宮尾登美子(企画展)、毛沢東、魯迅、孫文、周恩来、山川健次郎、白虎隊、小島為政、川喜多長政・かしこ、高浜虚子(企画展)、吉屋信子、武者小路実篤、水木しげる、徳川家康(企画展)、城山三郎(企画展)、ピカソ(企画展)、ユトリロ(企画展)、黒沢明(企画展)、松岡清次郎、クロード・モネ(企画展)、奥村土牛(企画展)、星新一(企画展)、三岸節子(企画展)、マネ(企画展)、歌川国芳(企画展)、石阪昌孝、岩合光昭(企画展)、小野竹喬(企画展)、土方歳三、佐藤彦五郎、井上源三郎、高橋是清、火野葦平、アインシュタイン、前田国男、富沢政恕、本居宣長、八木下要右衛門、石井桃子(企画展)、林芙美子、川瀬巴水(企画展)、相笠昌義(企画展)、唐人お吉、木下奎太郎、吉田松陰(企画展)、タウンゼント・ハリス、下岡蓮杖、池田満寿夫、山本冬彦(企画展)、野口英世、安野光雅(企画展)、馬驍(企画展)

2011年（64館）

柏戸、藤沢周平、出光佐三、長谷川等伯(企画展)、鈴木大拙、大石内蔵助(企画展)、モーリス・ドニ(企画展)、萩原朔太郎(企画展)、細川護熙(企画展)、和田誠(企画展)、川上音二郎・貞奴(企画展)、開高健、松前重義、空海(企画展)、梅屋庄吉(企画展)、岡田三郎助、藤島武二、若山牧水、芹沢光治良、大岡信、滝沢馬琴(劇)、芹沢銈介(企画展)、パウル・クレイ(企画展)、落谷虹児(企画展)、夏目漱石(企画展)、内田九一(企画展)、山本正之(企画展)、狩野一信(企画展)、レンブラント(企画展)、東洲斎写楽(企画展)、仏陀(企画展)、池波正太郎(2)、直木三十五、井植歳男、親鸞、空海、孫文、武藤山治、高田屋嘉兵衛、梅棹忠夫(企画展)、池田英一、向井潤吉、白洲正子(企画展)、野間清治、フェルメール(企画展)、豊田佐吉・豊田喜一郎、細井平洲、イーダ・ヴァリッキオ(企画展)、北里柴三郎、宮崎滔天、榎木孝明、大野勝彦、前田真三・晃、中村道雄、松浦武四郎(企画展)、星野富弘(企画展)、相田みつを、山本為三郎、大倉治右衛門、松本治六郎、坂本龍馬、細川護立、佐藤忠良(企画展)、徳田八十吉(企画展)

2012年（61館）

毛利空桑、石橋正二郎、篠山紀信(企画展)、ジャン・シャルダン(企画展)、三島由紀夫、徳富蘇峰、北原照久、小池邦夫、岡田紅陽、新美南吉、横井庄一、立花隆(企画展)、森鷗外、飯田蛇笏(企画展)、ミレー、斎藤茂吉(企画展)、ドビュッシー(企画展)、臼井吉見、荻原守衛、いわさきちひろ、根津嘉一郎、横溝正史、藤田嗣治(企画展)、安野光雅(企画展)、亀井文蔵、松本竣介(企画展)、原六郎、徳富蘆花、竹久夢二、那須与一、古橋広之進、賀茂真淵、木下恵介、フェルメール、田嶋宏行、駒井哲郎(企画展)、大宅壮一、阿久悠、米沢嘉博、粉川忠、ゲーテ、上杉憲実、海音寺潮五郎、手塚治虫(企画展)、ダ・ヴィンチ(企画展)、セザンヌ(企画展)、鉄川与助(企画展)、南桂子(企画展)、松井冬子(企画展)、細見良(企画展)、鳥居龍蔵、モリス、阿波十郎兵衛、村内道昌、土屋文明、辻村寿三郎(企画展)、新島襄、山川庄太郎、西山由之、ロダン、今和次郎(企画展)

人物論 ～人物記念館の旅②～

2013年（75館）

鶴嶋貞男、太宰治、竹中泰人、与勇輝、加藤千洋(企画展)、サン＝テグジュペリ、ルネ・ラリック、小林古径(企画展)、ピカソ、ルノワール(企画展)、ミケランジェロ(企画展)、ル・コルビジエ(企画展)、ターナー(企画展)、中谷宇吉郎(企画展)、カイユボット(企画展)、菊池寛、イサムノグチ、平賀源内、猪熊弦一郎、大平正芳、佐伯勇、正岡圭規、司馬遼太郎、伊丹十三、佐藤慶太郎、草間弥生(企画展)、川本喜八郎、北原照久、吉川親方(企画展)、斎藤文夫(企画展)、榮久庵憲司(企画展)、宮澤賢治(企画展)、夏目漱石(企画展)、浅井慎平(企画展)、松下幸之助(企画展)、藤山雷太、下中弥三郎、重光葵、パール判事、成川寛、平松礼二(企画展)、玉村豊男、岡田茂吉、鈴木常司、杉山寧(企画展)、山口正造、河鍋曉斎(企画展)、ラファエロ(企画展)、ダ・ヴィンチ(企画展)、中村八大(企画展)、中原淳一(企画展)、井上ひさし(企画展)、山口晃(企画展)、木村莊八(企画展)、香淳皇后(企画展)、嘉納治五郎、杉山寧(企画展)、クラーク(企画展)、大鵬(企画展)、山田洋次、車寅次郎、ドナルド・キーン、吉村昭、正岡圭規、円空(企画展)、王羲之(企画展)、寺山修司(企画展)、山本健吉(企画展)、会田誠(企画展)、キャバ(企画展)、福田恒存(企画展)、白隠(企画展)、奥田元宋(企画展)、高山辰雄(企画展)、塙保己一

2014年（60館）

東郷青児、赤瀬川原平(企画展)、中曽根康弘、水上勉(企画展)、難波田史男(企画展)、北大路魯山人(企画展)、ティム・バートン(企画展)、リー・ミンウェイ(企画展)、空海(企画展)、向田邦子、石川文洋(企画展)、黒田官兵衛、司馬遼太郎、坂野鉄次郎、竹久夢二、犬養木堂、山田方谷、大原孫三郎、児島虎次郎、星野仙一、大山康治、宇治山鉄平、末田龍介、モディリアーニ(企)、志賀直哉、入江泰吉、久保田一竹、ガウディ(企画展)、伊沢修二、蒋介石、孫文(台湾)、児玉源太郎(台湾)、後藤新平(台湾)、岡本要八郎、川上瀧弥、森山松之助、八田與一(台湾)、鄭成功(台湾)、羽鳥又男、茨木のり子(企画展)、栄西(企画展)、黒田官兵衛、岸田吟香(企画展)、支倉常長(企画展)、藤城清治、丸木位里・丸木俊、本多静六、高山彦九郎、笹沢左保、野見山曉治(企画展)、大宅壮一、坂村真民(企画展)、ファールブル、岩崎久弥、小栗上野介、岩田専太郎、小津安二郎(企画展)、黒岩重吾(企画展)、安藤百福、下村観山(企画展)

2015年（60館）

王貞治、萩原英雄(企画展)、新田次郎、堀内良平、一休(企画展)、磯崎眠亀、林源十郎、薄田泣菫、大原孫三郎、黒住宗忠、大岡信(企画展)、秋田雨雀、若乃花、斉藤仁、マリー・ローランサン(企画展)、山崎豊子(企画展)、水戸岡鋭治(企画展)、小宮裕宣、黒崎義介、池田寛、北原白秋、江戸川乱歩、マッカーサー(企画展)、河鍋曉斎(企画展)、伊藤豊雄(企画展)、ドラッカー(企画展)、鴨居玲(企画展)、植草甚一(企画展)、谷崎潤一(企画展)、上村松園・松篁、奥村太平、聖武天皇、公文公、伊藤若冲(企画展)、徳川家康(企画展)、丹下健三(企画展)、ジョン・F・ケネディ(企画展)、岡崎嘉平太、岸田吟香、宮本武蔵、片山潜、法然、平櫛田中、小野竹喬、仁科芳雄、美空ひばり、円谷幸吉、松尾芭蕉、武部吉次、壺井栄、柳生忠平、尾崎放哉、松永武、久留島武彦、リンカーン、児玉九十(企画展)、岡本太郎、辰野金吾(企画展)、岡崎京子(企画展)、池田あきこ(企画展)

2016年（43館）

小田野直武(企画展)、円山応挙(企画展)、梅原龍三郎(企画展)、島田依史子、志村ふくみ(企画展)、鈴木其一(企画展)、大隈重信、仙崖(企画展)、山本丘人(企画展)、平賀敬、孫文(広州)、藤城清治、レンブラント(企画展)、小林正樹(企画展)、二階堂あきら、国武金太郎、片岡辰市(企画展)、内田百閒、中西亮(企画展)、安藤忠雄(企画展)、大谷竹次郎、歌川広重(企画展)、岩崎春子、国吉康雄(企画展)、エリスマン、鮎川信夫(企画展)、徳川家康(企画展)、川端康成(企画展)、三宅一生(企画展)、上橋菜穂子(企画展)、中井英夫(企画展)、荻野吟子、萩原朔太郎、千住博、吉岡弥生、成瀬仁蔵、広岡浅子、武田信玄、大村智、モネ(企画展)、浦沢直樹(企画展)、村上隆(企画展)、狩野一信(企画展)

2017年（64館）

吉田初三郎(企画展)、南方熊楠(企画展)、熊谷守一(企画展)、岸清一、嘉納治五郎、シャガール(企画展)、安藤忠雄(企画展)、運慶(企画展)、澁澤龍彦(企画展)、東郷青児、山本周五郎(企画展)、夏目漱石、今泉利光、吉備真備、佐藤一草、田中塊堂、いがらしゆみこ、土屋文明、藤原啓、内田康夫、片岡鶴太郎、ベルツ、本間光丘、土門拳、長谷川等伯(企画展)、雪舟(企画展)、不染鉄(企画展)、山田定治、栗盛吉右衛門、竹村吉右衛門、鳥潟隆三、小畑勇二郎、宇野千代(企画展)、司馬遼太郎(企画展)、山本周五郎(企画展)、石橋湛山、歌川国芳(企画展)、ミュシャ(企画展)、アドルフ・ヴェルブリ(企画展)、ムットーニ(企画展)、横尾忠則(企画展)、清水次郎長、吉田茂、島崎藤村、徳富蘇峰、吉田達磨(企画展)、吉松眞司(企画展)、徳川家康、喜多川歌麿、濱田庄司、山本有三、佐藤泰然、伊藤左千夫、五十嵐健治、湯浅八郎、熊谷恒子、川端龍子、岡村吉右衛門(企画展)、篠山紀信(企画展)、楠山永雄(企画展)、葛飾北斎、野田宇太郎(企画展)、賀古鶴所(企画展)、花森安治(企画展)

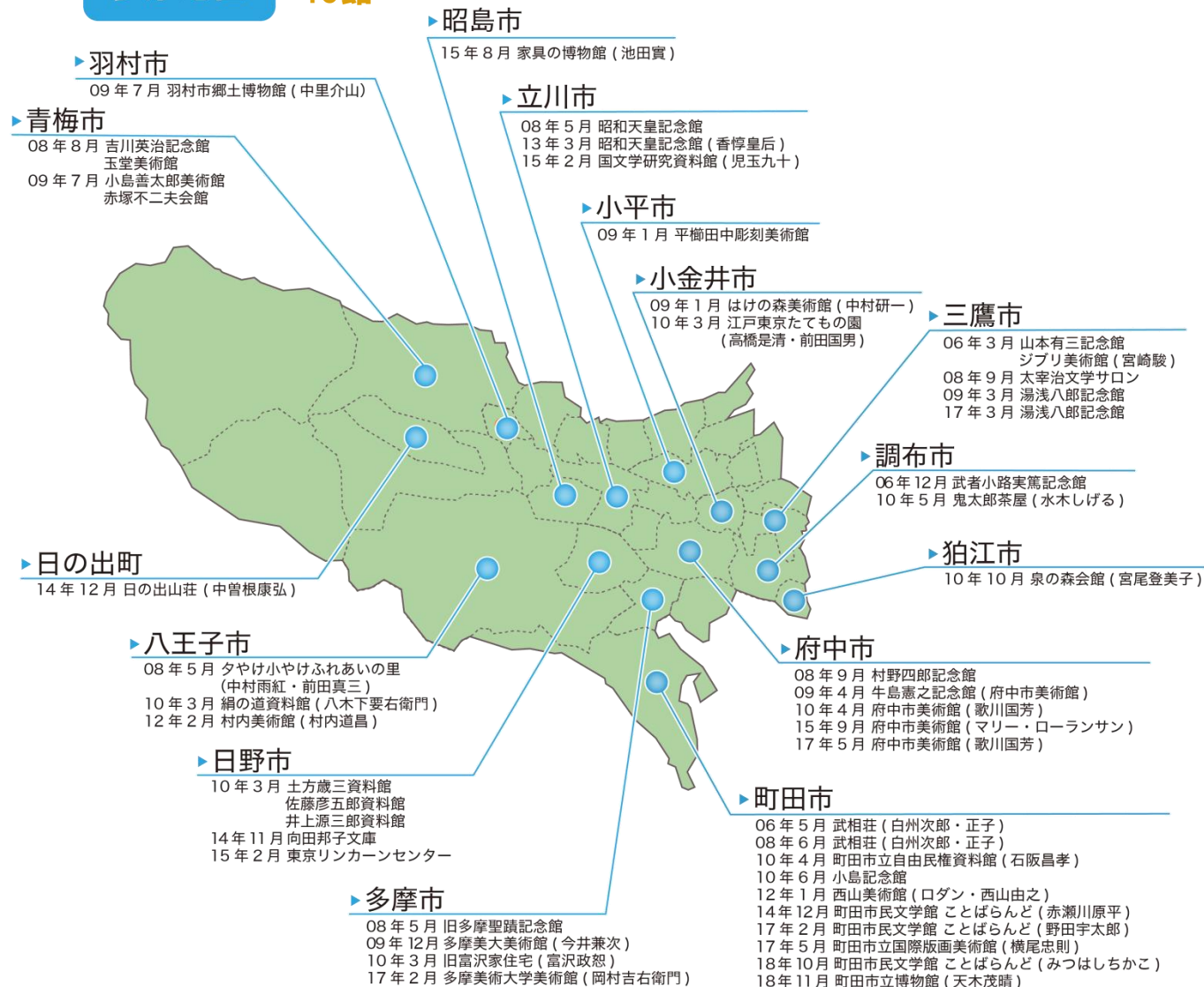
2018年（40館）

ムンク(企画展)、ルオー(企画展)、フェルメール(企画展)、ルーベンス(企画展)、天木茂晴(企画展)、マリー・ローランサン、みつはしちかこ(企画展)、横山華山(企画展)、筒井康隆(企画展)、中江藤樹、清水安三、中村憲吉、東郷平八郎、菅茶山、ザビエル、中原中也、久下貴史(企画展)、石橋幸作(企画展)、石原裕次郎(企画展)、イサム・ノグチ(企画展)、マリ＝エティエンヌ＝ニト(企画展)、信藤三雄(企画展)、鈴木信太郎、黒澤明(企画展)、釈宗演(企画展)、イザベラ・バード(企画展)、松平不昧(企画展)、ルドン(企画展)、隈研吾(企画展)、鹿島茂(企画展)、ペラスケス(企画展)、ブリュゲル(企画展)、戸栗享、斉藤茂吉(企画展)、ルドルフ2世(企画展)、谷川俊太郎(企画展)、角川源義、古河虎之助、渋沢栄一、太田黒元雄

人物論 ～人物記念館の旅 多摩地区～

多摩地区

43館



「人物記念館の旅」で採集した偉人の生き方や名言の研究も、7冊の著作に結実しています。



KOKOROZASHI 志
[ディスカヴァー・トゥエンティワン]
2009/7



人生の道を拓く言葉130
—偉業を成し遂げた人々の「志」
[日本経済新聞出版社]
2011/8



遅咲き偉人伝
[PHP研究所]
2013/12



偉人の命日366名言集
—人生が豊かになる一日一言—
[日本地域社会研究所]
2017/6



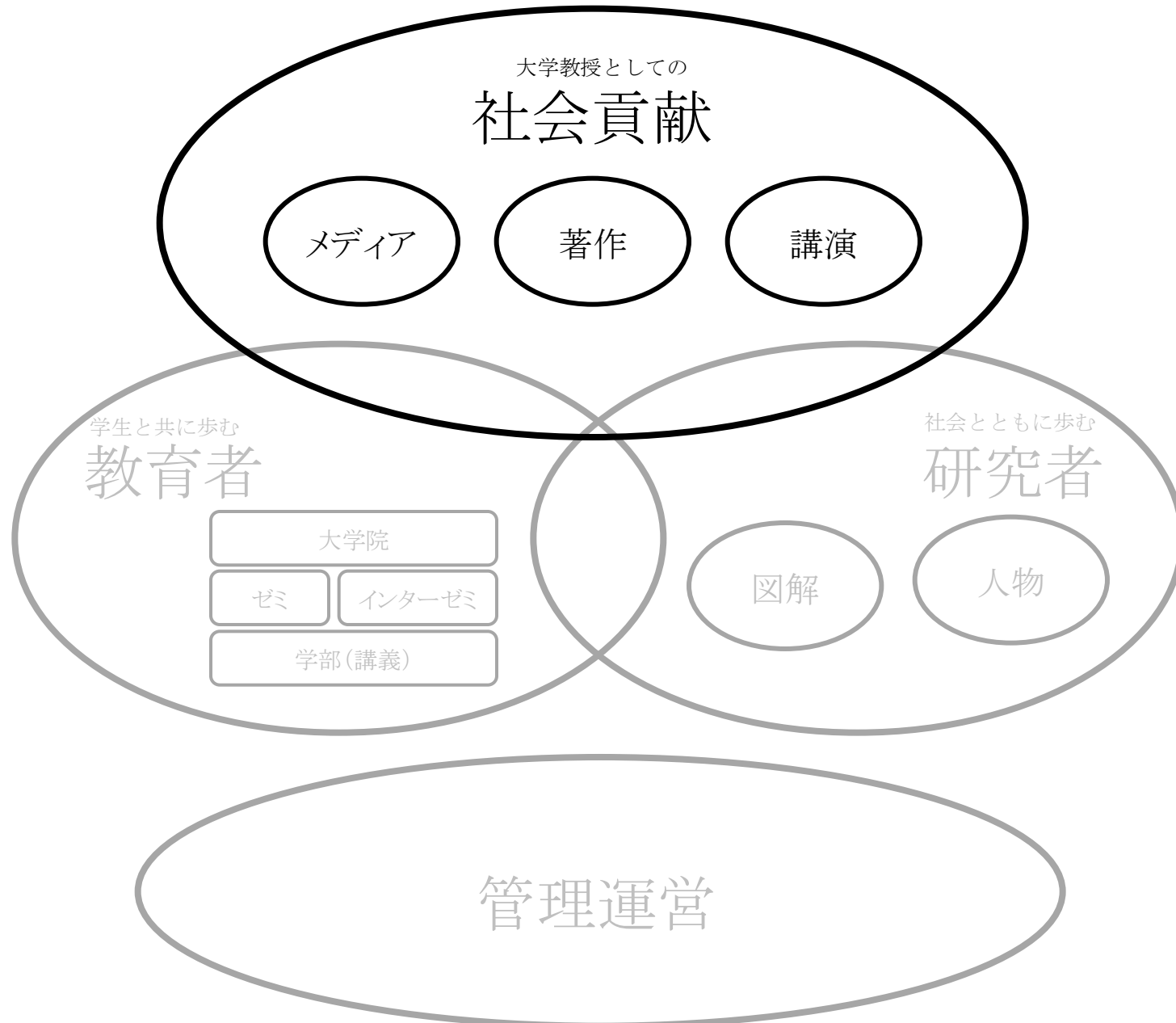
偉人の誕生日366名言集
—人生が豊かになる一日一言—
[日本地域社会研究所]
2018/7



100年人生の生き方死に方
—百寿者(センテナリアン)からの伝言—
[さくら舎]
2018/8



心を成長させる名経営者の言葉
[日本実業出版社]
2019/4(予定)



多摩大学時代 67冊

生涯累計

著書:146冊



宮城大学時代 64冊(DVD・ビデオ・ソフト 6本)



ビジネスマン時代 15冊(ビデオ 1本)



講演

これまでの講演数:671回(生涯累計)

多摩大学時代
293回

官
74回

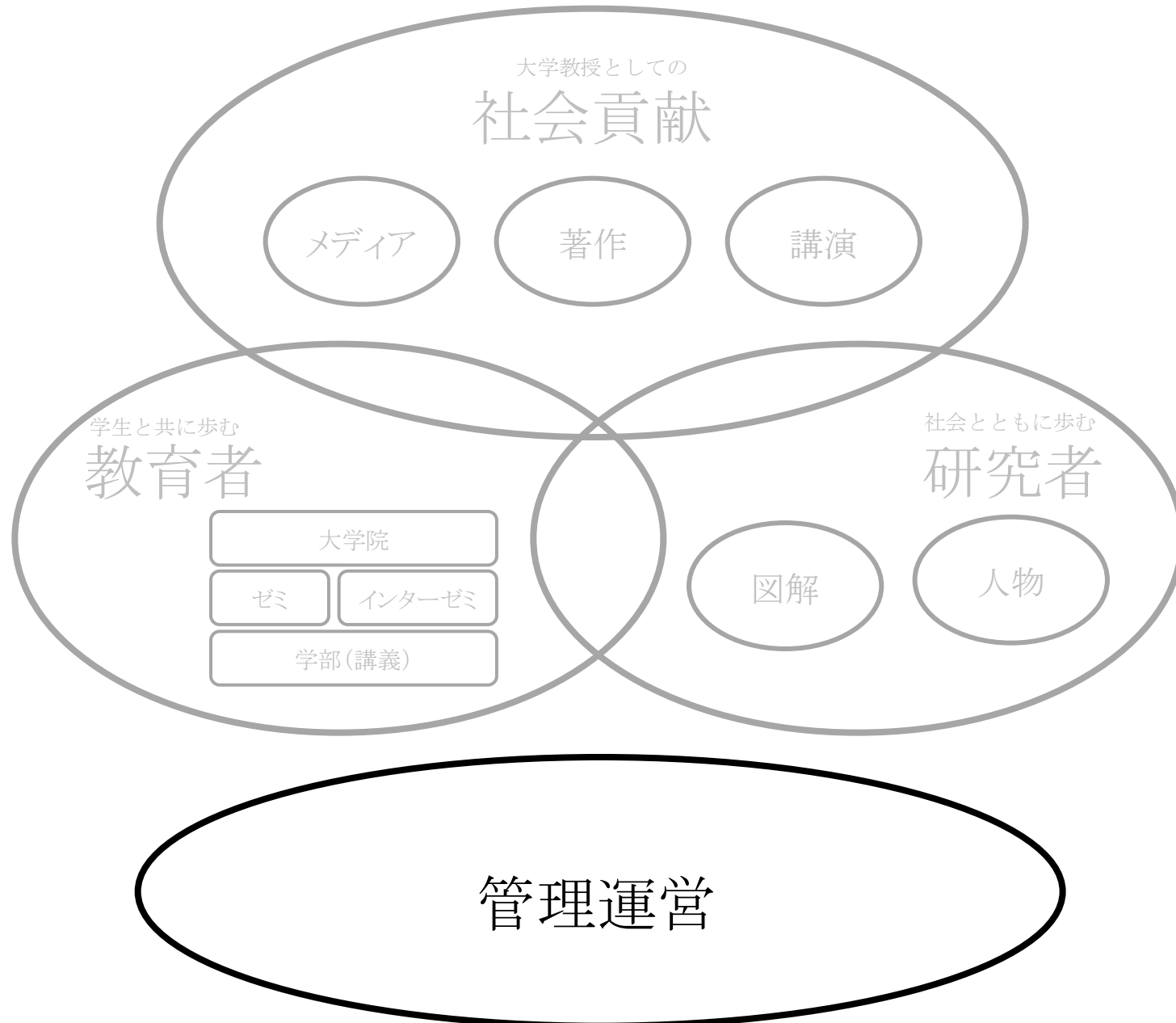
学
43回

東京都市議会議長会
消防大学校 全国市町村職員中央研修所
東京都人材育成センター 埼玉県庁
知多地方教員組合連絡協議会 東京都立多摩図書館
宮崎市保健所 座間市立東地区文化センター 市町村アカデミー
奈良県職員研修 江東都税事務所 会津地方振興局
岡山県職員研修 石川県看護協会 財務省税関研修所
神奈川県栄養士会 横浜家庭裁判所 全国地域リーダー養成塾
独立行政法人国際協力機構(JICA) 滋賀県市町村職員研修所
仙台シルバーセンター 自治大学校

国立大学協会
大分県高等学校PTA連合会
福島大学
全国カトリック校長会 日本未来学会
自治体議会政策学会 明海大学 東北高進協研究大会青森大会
プレゼンテーション教育学会 日本ビジネス実務学会 明治大学
中央大学草加白門会 多摩大目黒高校朗進会
愛知教育大学 多摩大学後援会 会津大学
全国経営学部長会議 熊本学園大学 中津北高等学校
東京都立高等学校副校長会
広東財經大学

リクルートキャリア
マイプリント
菅原工務所 川島医院 協働ステーション中央 全国能率大会 未来フェス2017in京都
いすゞ自動車 全国地方銀行協会ミドルマネージャー養成講座 自分史フェスティバル
SMBC取締役セミナー 自分史フェスティバル2013基調講演
知識リーダーシップ綜研 自分史活用推進協議会 大分図解講座(出あいの村)
熊日サービス開発(株) 南十勝夢街道プロジェクト推進協議会 NPO法人「JAPAN NOW観光情報協会」
超える会 日産クリエイティブサービス大館松下村塾 知研 スルーエイジ農園 社団法人淡路青年会議所
はちおうじ志民塾 中津ロータリークラブ ビジネス交流会 WIN21 自動車技術会関東支部
JR東日本 横浜木鶏クラブ JR東京総合病院高等看護学園同窓会 ビジネススクエア多摩 地域活性化センター
損保ジャパン 日本電気労働組合中研・神奈川支部 社団法人企業社会研究会 ギリークラブ
三井住友海上火災保険株式会社 マイクロソフト コアネット株式会社
ディスカバー21 多摩ブルーグリーン倶楽部 三菱UFJ R&C

産
176回



多摩大学改革の歴史と展望

- ・ (2008年) **教授**
 - ・ 長期低落・方向感の喪失・理念のあいまい化。
 - ・ ホームページに情報を集約しデータバンク化。
 - ・ 多摩大鳥瞰図絵
- ・ ○2009年度:教育理念 **学長室長**
 - ・ 寺島実郎学長
 - ・ 「アジアユーラシア時代」「実学志向」「問題意識と解決能力を身につけた人材」「リレー講座とインターゼミ」「多摩学」
 - ・ ・教育理念「現代の志塾」の制定
 - ・ ・2学部1研究科の教育目標(人材像)の設定
 - ・ ・経営情報学部＝産業社会の問題解決の最前線に
 - ・ 立つ志人材を育てる
- ・ ○2010年度・2011年度:戦略 **学長室長**
 - ・ ・多摩大戦略図の作成
 - ・ ・志入試・カリキュラム改革・志企業へと発展
- ・ ○2012年度:中期計画 **経営情報学部長**
 - ・ ・経営情報学部中期計画の初策定
 - ・ ・人材像・3つの履修モデルの人材像・シラバスの改善
 - ・ ・グローバル人材申請:多摩グローバル人材
 - ・ ・教授会は方針。委員会中心。議論より対策、教職参加。
 - ・ ・組織的運営:執行部の意思統一(学部運営委員会)
 - ・ ・教員面談(学部長)
- ・ ○2013年度:カリキュラム完成・シラバス充実 **経営情報学部長**
 - ・ ・地(知)の拠点申請。地域ビジネス人材像。
 - ・ ・採用方針の明確化:将来を睨み、年齢構成の是正と若手採用
 - ・ ・教員給与・昇格基準の是正(内部一体化)
- ・ ○2014年度:経営情報学科の大学院創設 **経営情報学部長**
 - ・ ・大学院にデータサイエンスのコースをつくりタテに伸ばす
 - ・ ・自己点検報告書:現状把握・全学の人材像の完成。改善方策。
 - ・ ・委員会中期計画(問題と解決の方向)。2委員会所属。
 - ・ ・ゼミ力の多摩大。
 - ・ ・T-Studio:25周年記念ファシリティ:情報発信拠点
- ・ ○2015年度:改組 **副学長(兼)経営情報学部長**
 - ・ ・経営情報学科と事業構想学科(マネジメントデザイン学科)
 - ・ ・大学院:ビジネスデータサイエンスコース
- ・ ○2016年度:アクティブラーニング元年 **副学長(兼)経営情報学部長**
 - ・ ・アクティブラーニング支援センターの設置
 - ・ ・アクティブラーニングの多摩大:ゼミで培った教育力を講義に全面展開する。アクティブラーニング実践。
 - ・ ・「大いなる多摩学会」の創設:産学官民。問題解決学会。全学。
 - ・ ・原点(DNA)回帰:起業応援会社の設立
 - ・ ・文科省大学改革ランキングで全国トップタイ(9校)
 - ・ ・「離学率」対策が課題に。
- ・ ○2017年度(量から質へ) **副学長**
 - ・ ・私立大学研究ブランディング事業に採択。
 - ・ ・2学部1研究科全てで入学定員を確保
 - ・ ・離学率が全学的テーマに浮上
 - ・ ・サバイバルステージ(再建)が終了。
- ・ ◎2018年度(2018年問題・専門学校の大学化という外圧) **副学長**
 - ・ ○大学ブランド構築ステージ(再興)へ。
 - ・ ・教育:アクティブラーニングの多摩大(高大接続ALの先進。評価手法)
 - ・ オール多摩大(2学部1研究科。多摩大“志塾会”(学部・大学院合同OB会)
 - ・ オール田村学園(目黒中高・聖ヶ丘中高)
 - ・ ・研究:ジェロントロジーの多摩大(大都市郊外型高齢化に立ち向かう)
 - ・ 大学院・研究開発機構(研究所)。日本総研。大学連携。多摩大出版会。

多摩大鳥瞰図絵

実学としての「多摩学」の構築の一環として「多摩大鳥瞰図絵」を2010年5月に作成(2014年に修正)



多摩という地域はどこを指すのだろうか。
諸説あるが、東西では東の東京世田谷あたりから西は富士山に迫るあたりまで、南北は秩父山系から南は東京湾、相模湾までの広大な地域、これを仮に「大多摩」と呼んでみようか。
この地域は現在では、東西に中央自動車道、東名高速、中央線、京王線、小田急線、東海道新幹線などが通り、南北には多摩川と相模川が流れている。歴史的にも興味深い地域でもある。いたるところに散在する万葉集の歌碑群、東国から九州の警護に行かされた防人が通った多摩よこやまの道、「いざ鎌倉」の鎌倉街道、横浜と八王子を結んだ文明開化の「絹の道」、昭和の開発を彩った多摩ニュータウン、。。。。。

東京西部地区、23区以外を指す東京都下という「辺境の多摩」ではなく、日本と世界の中心に多摩があると考え、東京は出稼ぎにいく場所とみえる。空の羽田空港と海の横浜港から世界につながっている。沸騰する日本海の彼方に中国、韓国、北朝鮮、ロシアなどを擁するダイナミズムあふれるユーラシア大陸が視野に入る。少なく見積もっても人口400万人以上、12万社以上の企業が存在するこの多摩を、地域性（ローカリティ）と世界性（グローバリズム）を具備する地域としてとらえ直す「多摩グローカリティ」という視点がこの鳥瞰図絵から浮かんでくる。

多摩大戦略図

2010年に多摩大戦略図を作成。多摩大学の再建はこの戦略に沿って実行されました。

再建の日々を学部長日誌・副学長日誌として綴りました。

2012年:361ページ



2013年:295ページ



2014年:379ページ



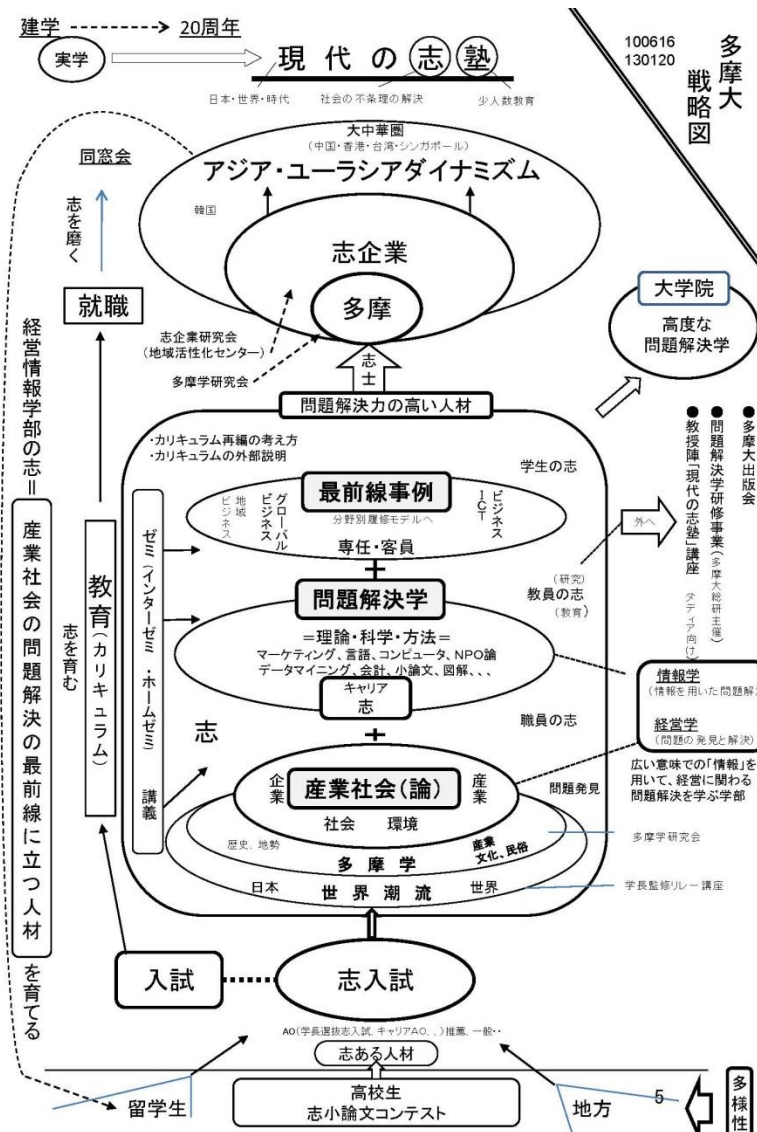
2015年:279ページ



2016年:243ページ



2017年:318ページ



私立大学全国改革ランキング

大学改革の結果、文部科学省私立大学全国改革ランキングで2016年に全国1位となった。

私立大学全国改革ランキング2016

文部科学省 私立大学等改革総合支援事業

教育の質的変換、地域発展、産業界・他大学等との連携、グローバル化などの改革に全学的・組織的に積極的に取り組む大学を選定

申請:716校(大学・短大・高専)

(多摩大学:全国1位)

[4タイプ採択]
9校

東北福祉大学、国際医療福祉大学、
東京都市大学、**多摩大学**、芝浦工業大学、
武蔵野大学、金沢工業大学、福岡工業大学、長崎国際大学

4タイプ採択されたのは、
理工系と医療・福祉がほとんど。

学内ガバナンス、
教職員の協働が機能
していることの現れ。

[3タイプ採択] 35校

杏林大学、千葉商科大学 他

詳細は、「改革総合支援事業」で検索
※文部科学省HPIに掲載

[2タイプ採択] 136校

青山学院大学、学習院大学、慶應義塾大学、中央大学、
東京理科大学、東洋大学、明治大学、立教大学、早稲田大学 他

[1タイプ採択] 277校

桜美林大学、成蹊大学、専修大学、大東文化大学、高千穂大学、玉川大学、
東京経済大学、日本大学、法政大学、明治学院大学、和光大学、神奈川大学 他

[採択なし] 259校

タイプ1

教育の質的変換

全学的な体制での教育の質的転換
(学生の主体的な学習の充実等)を支援

<評価する取組(例)>

- 全学的な教学マネジメント体制の構築
- シラバスの改善(主体的な学習を促す教育課程の編成)
- 学生の学習時間等の把握と充実
- 学生による授業評価結果の活用
- 外部組織と連携したproject-Based Learningの実施等

高大接続改革に積極的に取り組む
大学等を追加的に支援(新規)

<評価する取組(例)>

- 多面的・総合的な入試への転換
- 高等学校教育と大学教育の連携強化
- アドミッションオフィス等の組織改善
- 追跡調査など選抜方法の妥当性の検証等

タイプ2

地域発展

地域社会貢献、社会人受け入れ、
生涯学習機能の強化等を支援

- 自治体との包括連携協定の締結
- 全学的地域連携センターの設置
- 地域社会と連携した地域課題解決のための教育プログラム等

※三大都市圏(過疎地域は除く)にある収容
定員8,000人以上の大学等は対象外。

タイプ3

産業界・
他大学等との連携

産業界や国内の他大学等と連携した
高度な教育研究支援

- 教育面を含む産学連携体制の構築
- 長期インターンシップ
- 交流協定に基づく単位互換の実施・交流実績
- 教育プログラムの共同開発、共同研究、共同FD・SD等

タイプ4

グローバル化

国際環境整備、地域の国際化など、
多様なグローバル化を支援

- 実践的な語学教育
- 外国人数員・学生の比率
- 地域のグローバル化への貢献等

※必須要件グローバル化対応ポリシーの策定。

13

活かす企業人 大学編（日本経済新聞）

日本経済新聞 2013年3月31日に掲載

「活かす企業人」大学編

多摩大学「志」持ち、現代の課題解く

経営情報学部学部長 久恒啓一氏

本学は「国際性・学際性・実索性」（野田一夫初代学長）を建学の精神に1989年の創立以来、社会の課題解決のために活かす「実学教育」に取り組んできました。

2009年に創立20周年を迎えた本学は、新しい時代の実学を「今を生きる時代についての認識を深め、課題解決能力を高めること」と再定義しました。教育理念を「現代の志塾」と定め、教育・研究・社会貢献の全分野において共通の考え方としたのです。

本学が考える「志」とは、社会の不条理の解決のために自らの仕事を通じて貢献すること。「塾」とは人間的な触れ合いを通じた人格教育を大切にすることです。「現代の」と表現したのは、寺島実郎学長が提唱する「アジア・ユーラシアダイナミズム」を念頭に、日本をめぐる世界の潮流を意識し、時代と併走することを意味しています。

目指す人材像は「多摩グローバル人材」です。多摩の地域性を究めることで世界に目を開く「グローカリティ」という思想を持って多摩地域の活性化をリードし、世界で活躍する人たちです。

私が学部長を務める経営情報学部でいえば、産業社会の問題解決の最前線に立つ志人材（人物）の育成です。そのため「ゼミの多摩大」といわれるように少人数教育を徹底しています。1年生からゼミ形式の授業に慣れるため「プレゼミ」「プレホームゼミ」を開講。2年生以降は全教員による「ホームゼミ」に加え、2～4年生を対象にした「プロジェクトゼミ」は、産業界で活躍する有識者が講師を務めます。

全額奨学金型の「インターゼミ（社会工学研究会）」は、寺島学長自ら統括します。2つの学部と学生と社会人大学院生が、学年・専門領域を越えて現代社会が内包する問題解決法を探るのです。

本学の教員の半数以上は企業勤務経験者です。「凡庸な教師はただしゃべる。偉大な教師は心に火をつける」といいます。本学の教員は自分の経験や考え抜いたことを学生に語り、リアリティーある授業を心がけています。

私は仕事の歴史を中心に学習歴、経験歴の総体をキャリアと呼んでいます。キャリアの外側には家庭や仲間、趣味などがあり、全体を包含するのがライフデザインです。

多摩地区には、いわゆる中小企業が多いのですが、社会の問題解決に取り組む企業を「志企業」と呼んでいます。本学の就職支援では、大・中・小企業というくくりではなく、志のある企業を目指してほしいと指導しています。

最近、若い人たちの気質が変化しているといわれますが、私はそうは思いません。青春の悩みは恋愛や将来への不安、人間関係だったりします。「偉人伝」を学ぶ授業後の学生のアンケートでは、真摯に生きようとするコメントばかり。より良い人生を送りたいという思いは私たちの世代と変わらないのです。

どちらかといえば、現在の大人がしっかりしていない。私が社会人になった頃は課長クラスに食事に連れていかれ、よく説教されたものです。「頑張れば10年後、俺みたいになれるぞ」と、自信を持って後輩に語る上司や先輩がどの程度いるのでしょうか。

多くの企業のトップの悩みは、自分で考え問題解決に導く人材が少ないと聞きます。世間では勉強が大切といいますが、企業も個人も従来のやり方をまねるだけの「勉強病」に陥りがち。自分の視点でじっくり考える力を養い、独自の勉強・仕事に取り組むべきです。

次代を担う皆さんに、私の好きな言葉を贈りたいと思います。「外的世界の拡大は内的世界を深化させる」。だから外に目を向け実際に外に出てください。就職はある意味で外的世界の拡大です。不安はありますが、その拡大によって人は成長できるのです。

社会や企業は人材を求めますが、私は「人物」になってほしいと思います。知識や技術だけの人材だけでは代替が可能。社会的地域に関係なく「あの人は人物だ」といわれる人になることを目標にしてください。

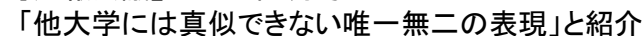
そのためには長期戦でじっくり自分を磨くこと。遅咲きでいいんです。焦って早く咲きたがりますが、時間をかけて自分を熟成させてほしい。ナンバーワンではなく、オンリーワンでいいのです。「偉い人」とは志を抱いて周囲に強い影響を与えた人物です。そういう人物になる準備期間が、大学の4年間といえるでしょう。



外的世界の拡大は内的世界を深化させる

長期戦で自分を磨け。人材より人物になれ

多摩大学の全体を表した図解をメインに置いた新しいWEBサイトとして話題を呼びました。



**2009年6月17日 グランドプリンスホテル赤坂にて、
多摩大学創立20周年記念 シンポジウムが行われ、コーディネーターを務めました。**

第2部:野田一夫初代学長、グレゴリー・クラーク第3代学長、寺島実郎第5代学長
歴代学長によるパネルディスカッションのコーディネーターとして登壇(学長
室長)



ネーミング

多摩大学の様々なものに名前をつけてきました。

ゼミ力の多摩大



教育理念

現代の志塾

T-Studio (開学25周年記念施設)



大いなる多摩学会



全体方針共有会

多摩大学歴史未来館

『多摩大学歴史未来館』オープン！

(利用時間) 平日 9:00 ~ 19:30
※ 休日には高校生や父母のためのオープンキャンパス等のイベントに利用される場合があります。

2014年10月2日、多摩大学25周年を記念して、B棟2階に「多摩大学歴史未来館」が設置されました。本学の学生及びオープンキャンパス時の高校生や父母等の本学来校のお客さまに対し、多摩大学の先駆性に満ちた歴史と未来ビジョンを認識していただくことを目的としています。学生の皆さんには、本館のコンテンツを通じて多摩大学の強みや特徴を知り、プライドを持って対外的に多摩大学を語る素材として活用してもらえれば幸いです。

70インチの大型タッチ式ディスプレイは、本学の歴史、歴代の学長メッセージを観る事ができ、また、DVD動画やテレビ放送も定期的に流しますので、学生同士のコミュニケーションの場、憩いの場としてもぜひご利用ください。

多摩祭

名刺の変遷 多摩大学時代①

現代の志塾
多摩大学 経営情報学部
宮城大学名誉教授 中国・吉林大学 客員教授
NPO法人知的生産の技術研究会 理事長

校長 久恒 啓一
Keiichi Hisatsune

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL. 042 (337) 7140
e-mail hisatsune@tama.ac.jp
ホームページ「図解Web」http://www.hisatsune.net
ブログ「今日も生涯の一日なり」http://d.hatenanote.jp/hisatsune/

久恒啓一図解Web <http://www.hisatsune.net>

社会貢献
日本ベンチャークラブ メディア 著作 講演 Chabot
地域貢献

多摩大学 久恒サロン
宮城大学 図解コミュニケーション
中国・吉林大学 人物記念館の旅
NPO法人 知的生産の技術研究会
教育者 研究者



現代の志塾
多摩大学 経営情報学部
宮城大学名誉教授 中国・吉林大学 客員教授
NPO法人知的生産の技術研究会 理事長

校長 久恒 啓一
Keiichi Hisatsune

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL. 042 (337) 7140
e-mail hisatsune@tama.ac.jp
ホームページ「図解Web」http://www.hisatsune.net
ブログ「今日も生涯の一日なり」http://d.hatenanote.jp/hisatsune/

久恒啓一図解Web <http://www.hisatsune.net>

社会貢献
日本ベンチャークラブ メディア 著作 講演 Chabot
地域貢献

多摩大学 久恒サロン
宮城大学 図解コミュニケーション
中国・吉林大学 人物記念館の旅
NPO法人 知的生産の技術研究会
教育者 研究者



現代の志塾
多摩大学

多摩大学経営情報学部 教授
多摩大学総合研究所 所長

学長室長 久恒 啓一

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL. 042 (337) 7140
e-mail hisatsune@tama.ac.jp
ホームページ「図解Web」http://www.hisatsune.net
ブログ「今日も生涯の一日なり」http://d.hatenanote.jp/hisatsune/

NPO法人知的生産の技術研究会
<http://tiken.org/>

理事長 久恒 啓一

多摩大学経営情報学部 教授
e-mail hisatsune@gmail.com
ホームページ「図解Web」http://www.hisatsune.net
ブログ「今日も生涯の一日なり」http://d.hatenanote.jp/hisatsune/



現代の志塾
多摩大学

多摩大学経営情報学部 教授
多摩大学総合研究所 所長

学長室長 久恒 啓一

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL. 042 (337) 7140
e-mail hisatsune@tama.ac.jp
ホームページ「図解Web」http://www.hisatsune.net
ブログ「今日も生涯の一日なり」http://d.hatenanote.jp/hisatsune/

NPO法人知的生産の技術研究会
<http://tiken.org/>

理事長 久恒 啓一

多摩大学経営情報学部 教授
e-mail hisatsune@gmail.com
ホームページ「図解Web」http://www.hisatsune.net
ブログ「今日も生涯の一日なり」http://d.hatenanote.jp/hisatsune/



20th Anniversary
多摩大学

学長室長 久恒 啓一
hisatsune@tama.ac.jp

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL 042-337-7180

久恒啓一 図解Web <http://www.hisatsune.net>
ブログ「今日も生涯の一日なり」1600日連続更新中!

久恒 検索

知研 NPO法人
知的生産の技術 研究会

理事長
久恒 啓一
hisatsune@gmail.com
多摩大学経営情報学部 教授

知研Web <http://tiken.org> 知研 検索

社会貢献
日本ベンチャークラブ (Chabot)
多摩大学 知研
宮城大学 人物記念館の旅
中国・吉林大学 図解コミュニケーション
教育者 研究者



現代の志塾
多摩大学

経営情報学部 久恒 啓一
hisatsune@gmail.com

〒206-0022 東京都多摩市聖ヶ丘 4-1-1
TEL 042-337-7180

図解Web <http://www.hisatsune.net>
・Twitter hisatsune ・Facebook keiichi.hisatsune
・ブログ「今日も生涯の一日なり」
・メルマガ「久恒啓一の学びの軌跡」「図解達人への道」

多摩大学 検索
久恒 検索

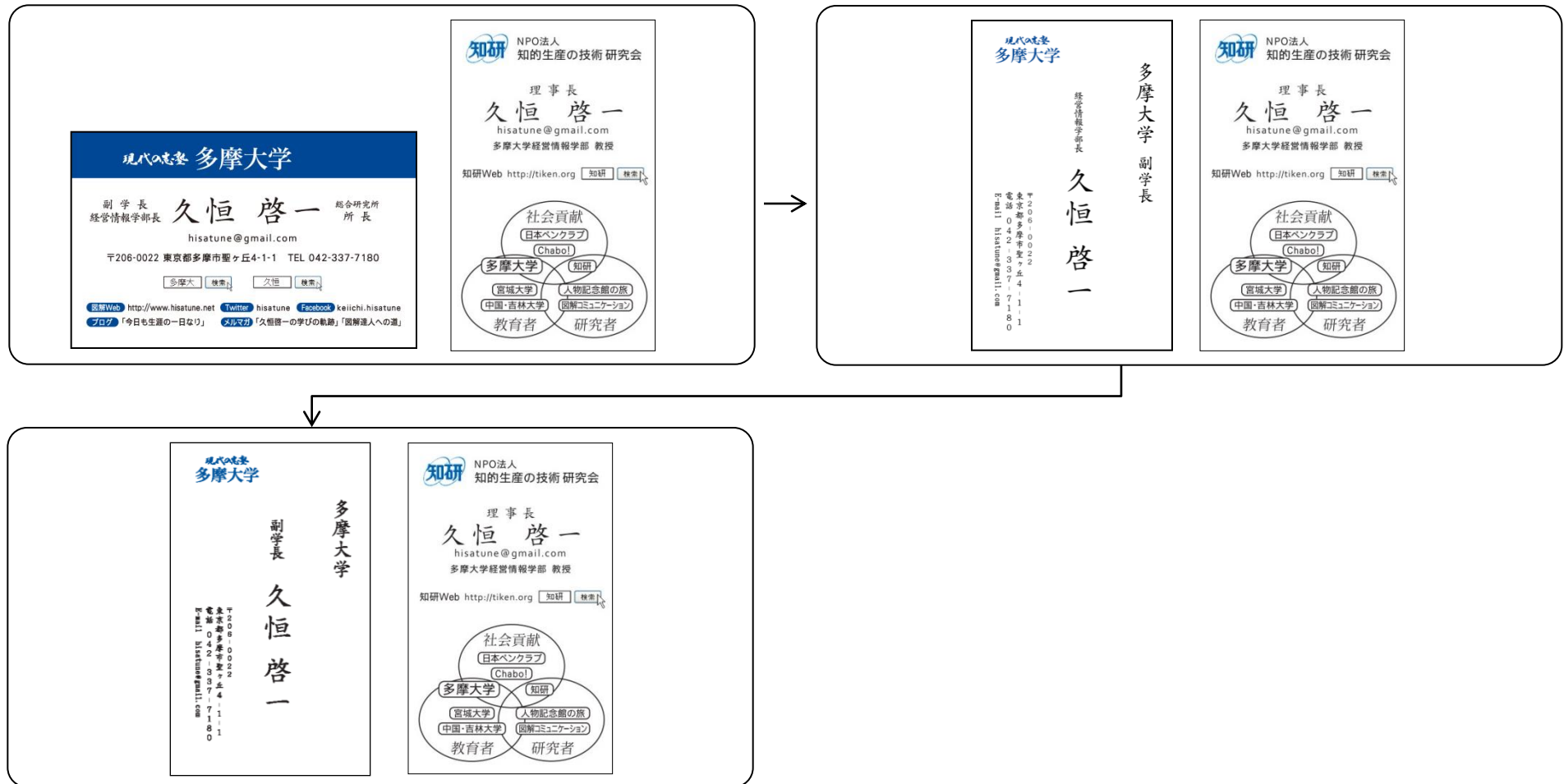
知研 NPO法人
知的生産の技術 研究会

理事長
久恒 啓一
hisatsune@gmail.com
多摩大学経営情報学部 教授

知研Web <http://tiken.org> 知研 検索

社会貢献
日本ベンチャークラブ (Chabot)
多摩大学 知研
宮城大学 人物記念館の旅
中国・吉林大学 図解コミュニケーション
教育者 研究者

名刺の変遷 多摩大学時代②



日本経済新聞 2010年6月24日 文化欄「交遊抄」に掲載されました

幼なじみ突然現る 久恒 啓一

尊敬する野田一夫先生に誘われてビジネスマンから大学教員（宮城大学事業構想学部）に転身して10年近く経った数年前のある夜、樋口裕一という名前で「私は子供の頃大分県中津市にいました。あなたは、けいぼちゃんですか？」というメールが届いた。

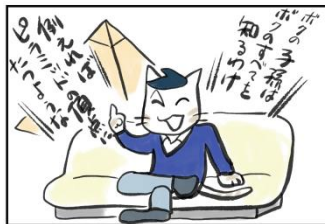
「ゆういっちゃん、だ!」。一緒に遊んだ記憶がセピア色で蘇ってきた。幼馴染みがベストセラー「頭がいい人、悪い人の話し方」を書いた人物として突然現れたのだ。仙台から駆けつけ小学校以来の再会を果たした。互いに姿かたちは変わってはいるが記憶は細部まで一致しており間違いなく幼なじみだった。

その直後、兄事する論客・寺島実郎（三井物産）さんが多摩大学学長に就任することになった。補佐するために私も行くことになった時、「一緒に」と声をかけた。

大企業育ちの私、予備校の小論文の講師の彼と、キャリア上は異なった道を歩んできたが、今はコミュニケーションが苦手な学生達をそれぞれ独自の武器で鍛えているのは不思議を乗り越えて何か因縁を感じてしまう。小論文の神様の彼と図解教の教祖としての私の共著書も出した。

“現代の志塾”多摩大の強みである「表現力」に磨きをかけようと、同僚として語り合うひとときは至福の時間である。（ひさつね・けいいち＝多摩大学教授・学長室長）

050 がくぶ長です



051 長い付き合いです



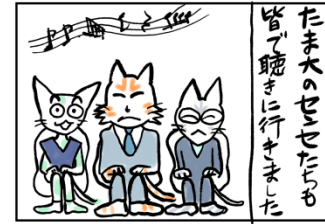
054 主役です



092 気持ちだけは若い



108 聞く姿勢ですか?



退任記念講義 これまでの私 これからの私

2019年1月17日

「これまでの私 これからの私」というタイトルで、「失敗」と「未来」をテーマに、学生と教職員に向けて講義を行いました。
横綱・稀勢の里ではないが、「一片の悔いもない」11年間でした。



退任記念講義 ～久米客員教授のレポートより～

【多摩大学 久恒啓一副学長 退任記念講義 これまでの私 これからの私】

今日は「らしくない」けれど「らしい」特別な講義を聴きました。

私が尊敬する図解と名言の師匠 久恒先生が、専任教授として登壇される最後の講義です。まず「終わり」なのに、新たな「始まり」を感じさせるところが退任講義「らしくない」。そして「涙」ではなく「笑い」がしめくくるところが久恒先生「らしい」。十年後には、こんな最終講義ができる人になりたいと憧れてしまいました。

なにしろ、過去について自慢はせず、失敗談ばかり話されたのです。久恒先生曰く「これから失敗の連続になる。会社に入ってもすぐ失敗する。どうしてこんなに自分は失敗するのだろうと思った。」たしかに、経理になれば振込を間違え、人事になれば50人も人を余計に採用するなど、考えられない失敗を重ねられていてビックリです。

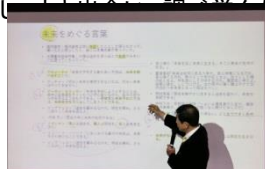
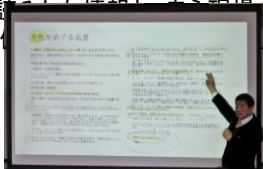
しかし「40歳で課長になった時に失敗が役立った。あらゆる失敗をしていたので部下の失敗の理由がよくわかった」そうで、まさに失敗を重ねることこそが究極のOJT(On-The-Job Training)に思えてきます。

おそらく、久恒先生は、インターネット上に日々リアルタイムで「自分自身の人物資料館」を創り続けている「最初の人類」でしょう。しかも独自の図解のメソッドに基づくユーザーインターフェイスで体系化されています。

種々のSNSの長所を使い分けながら充実させて、すでに5,000日突破。今日の講義で参照した資料もすべてホームページに収められています。これまで作った図解、学生たちのアンケート、これまでに訪ねた人物資料館(857館)のデータはもちろんのこと、ゴルフのスコアから、母の歌集まで入っているというから驚きです。

久恒先生曰く「20年間続けてわかったこと。ホームページが空母。Facebookなどsnsは戦闘機。」たしかに、久恒先生のホームページは、SNSにジャンプするリンク集の役割も果たしながら、それら外部に寄稿した記事も、ホームページに集約されて体系的に眺めることもできるのです。

「自分で作ったビッグデータでなければ、知的生産としては使えない」という言葉も心に刺さりました。久恒先生は、この言葉を棒読するたびに、その言葉を記憶で取材し、その言葉を「読者のために」に活用しています。



久恒先生は、計画の重要性を説き、自分の計画通りに過ごそうと提言します。自らの30年計画を振り返ると、日本航空の社員だった時代に「大学教授になる」と書いてあって不思議だそうです。こうして大きく考えると沿っているようにも見えますが、実はかなっていないことが多いとのこと。「それでも毎年チェックをして、○×△をつけることを3年ぐらい続けていると×が○になる。そんな良い習慣を身に着けることが大切」だと訴えます。

久恒先生曰く「計画通りにうまくいかないけれど立てないよりは、はるかに良い」「年度計画、中期計画を書いていると、そういう方向にいくような気がする。」「何が起きるかわからないけれど、若いうちに失敗しておくのが大切。ある程度力がついたら自分のテーマにまい進する。」だそうです。



このシンプルな人生の図解には驚きました。ちょうど昨日、クエストリーで「人生は旅」という話をしたのでシンクロシティです。

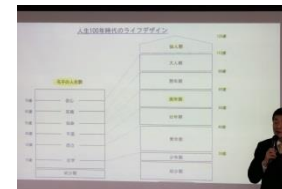
久恒先生曰く、「カラダをベースに、カネとヒマの自由を得て、ココロ・アタマの自由を獲得する」ことが、人生という名の旅の原動力。これは転職の時にも使える考え方で、例えば久恒先生は、このたび教授を退任することで、カネ(給料)が減る代わりに、ヒマ(自由時間)を得ることで、より大きなココロ・アタマの自由を獲得できるそうです。

久恒先生が、これから書きたい本のリストを見せていただきましたが、想像を絶する労力です。それだけではなく、久恒先生が理事長をつとめる「知的生産の技術研究会」の仕事として、梅棹忠夫先生の全集図解化にも挑戦したいそうです。これだけ大事業を遂行するには、おカネよりもヒマが、さらには人生百年時代を元気に生き抜くカラダ、ココロ、アタマが必要でしょう。

人生100年という、みんなコストとリスクの話ばかりしているが、そんなお金の話ばかりでは困る、考え方が間違っていると久恒先生は強調しました。それもこれも、昔の短い寿命をもとに不惑などの年齢別心得を説いた「孔子が悪い」だから、みんなが迷うとおっしゃるのです。そこで、久恒先生は、孔子の図を1.6倍伸長して、人生100年時代の心得を図のように提唱しています。なるほど、この図に合わせるなら、青年期、壮年期、実年期で3回キャリアデザインできます。私はまだ壮年期半ばですから、まだ1.5回チャレンジできるのだと思うと、元氣と勇氣が湧いてきました。

少壮老死

少にして学べば、壮にして為すことあり
壮にして学べば、老いて衰えず
老にして学べば、死して朽ちず



この半年間、私の担当講義の前に、久恒先生との雑談会と「立志人物伝」を聴講できて幸せでした。学生時代に聴いておけば…と思ったこともありましたが、今日の最終講義を聴いて、いや今聴くからこそ意味があると納得しました。やはり人生100年時代の壮年期には、働きながら学び、学びながら教える、同時並行の生き方が求められるのですね。

久恒先生、今日は素晴らしい講義をありがとうございました。そしてこれからも先生の背中を見ながら、今以上に離されないように追いかけます。引き続き、ご高導のほどよろしくお願い申し上げます。

退任記念講義 学生の受講アンケートから

- ・心に残るお話ありがとうございました
- ・先生の人生観、とても興味深かった。私は失敗を恐れてきたのでとても励みになりました
- ・失敗を恐れることは進化をあきらめることだ感じました
- ・人生計画を立ててよい人生にしたい
- ・失敗する人は成功する
- ・失敗のお話を聞いて私の中で何かが吹っ切れたように思いました
- ・正解も間違いもなくで大きな目で心で経験していくことが大切なんだ
- ・未来は考えるものではなく自分で作りだすもの
- ・自分の心に響いた言葉だけを胸に刻み生きていくことが大切だ
- ・人生は失敗から始まる
- ・先生の授業は他の先生の授業とは違い楽しく聞くことができた
- ・いつかは言葉で人を動かしたい
- ・習慣など当たり前のことを当たり前にコツコツとこなしていきたい
- ・先生が思っていたよりもずっとすごい人でびっくり
- ・いろんなことに挑戦して失敗してそこから学んでいくことが大切だ
- ・30代に思い立って30年以上も継続していくエネルギーはどこから
- ・この授業を通じて毎日日記をつけるようになりました
- ・公私のほかに個の時間も大切だ
- ・多く失敗し成長していく
- ・勇気をいただきました
- ・感動しました
- ・良き多摩大を発信していきたい
- ・先生の講義は確実に自分の武器を身に着けることができる講義でした
- ・失敗の連続の多さに驚きました
- ・計画・失敗の話はとてもよかった。失敗してもよいと思えた
- ・どの先生も久恒先生を尊敬している理由が分かった
- ・改めて久恒先生の偉大さを確認した
- ・尊敬します
- ・学生のうちにたくさん失敗し学習する

- ・確かに成功の本はたくさんあるが失敗についての本はない
- ・失敗や挫折に対する考えが変わった。ネガティブ思考が強かった今までの私にはとてもタメになった講義
- ・先生のお話は今までのどの言葉よりも重みがあった
- ・先生の授業では、これを伝えたい！という熱意を感じていました
- ・自分の考え方を変えるいい風を受けた
- ・あまり深く考えずに進もう
- ・人生計画を10年ごとに立ててみたい
- ・本を読むことが一番だ
- ・偉人館に行く
- ・先生のおかげでパワポで図が描けるようになった
- ・挑戦する
- ・先生のブログを読む
- ・くじけた時や悩んだときに先生の言葉を思いだしたい
- ・悔いのないように過ごしていく
- ・失敗をポジティブにとらえていこう
- ・教授の方々が楽しそうに聴いているのが印象的
- ・今まであらゆる有名な偉人の話を聴いてきましたが、久恒先生の今までの経験の話が一番面白かった
- ・何を心得て行動に移すか、そこで差がでる
- ・チャレンジ！
- ・後輩にも影響を与えたい。

退任記念講義 教職員の受講アンケートから

「多摩大学を立派にマネジメントしていただいた久恒先生のバックグラウンドと考え方がわかり興味深かった。ご苦労様でした！久恒先生のマネジメントなくして現在の多摩大はなかったと思います」

「学生というより我々中年期を迎え、迷える時期に貴重なお話をうかがえたこと大変ありがとうございました。今後の自分を考える上で大切な時間となりました」

「11年間教育、研究、大学運営・改革、大変お疲れさまでした。多くのことを学び、気づきをいただきました。心から感謝申し上げます」

「これからも大活躍なさること、間違いないと思います。遠くから近くから応援します」

「どれをとっても説得力があり、納得できることばかりで、大変勉強になりました。いくつかの項目はわかっているつもりではありますが、仕事のせいにして実行に移せていませんので、今後は少しでも久恒先生に近づけるように实际行动にしていきたいと思います。すばらしい講義をどうもあいがとうございました」

「私自身も大学入試あたりから現在まで失敗の連続ですが、今後は計画を立て、仕事にもチャレンジして、失敗を恐れず行動したいと思います」

「失敗を恐れる学生がどんどん増えている気がします」

「失敗の数こそ資産！その通りですね！御指導いただきありがとうございました」

「アーカイブ、ストックを大切にされたこと、それが過去でなく未来のためであることを感じました。起業に期待しております！成功をあせる日本に発言をお続けください」

「いつも明るく、軽いノリでお仕事をされているように感じていましたが、実はバックグラウンドに自らの歴史、あらゆる成長の過程の全記録を残されていて、それを有機的に結び付けておられたのだわかりました。私はこれまでの自分の歴史をあまり大切にしていなかったことを残念に思います。近い未来に迫った退職後のことをこれを機会に考えていきたいと思います」(職員)

退任の経緯

2018年10月:大学運営会議

寺島学長

「大学に大変貢献してくれた久恒副学長は、副学長の意思を前提にし、大学側の状況を判断して、今年任期で副学長の任期は満了とする。次年度は、特任教授的な形で、久恒氏自身の研究を深めて成果を出してもらうことで、多摩大学との関係は一定期間続くことで進むという方針を固めている。

2018年11月:教授会

杉田学部長

「久恒副学長が今年度をもって勇退される、、、」

久恒副学長

多摩大学の運営に11年間携わってきた。この期間に再建ステージは完了し、人材も育ってきたため、ここが潮時であると判断し、専任教員を退任することとした旨、報告があった。

2018年11月:大学運営会議

寺島学長

「久恒教授が副学長から去るが、大学に対しては貢献してもらう形で講義も担当してもらい、自分自身の研究も深めてもらうことを期待している」

2019年:大学運営会議

- 特任教授に任命
- 名誉教授の称号付与

久恒啓一氏は、平成20年（2008）年4月に多摩大学教授陣として入職。経営情報学部において「ビジネスコミュニケーション」「立志人物伝」、経営情報学研究科において「インサイトコミュニケーション」「立志人物論」を担当。

多摩大学在職中、約50冊の書籍刊行、多数の雑誌寄稿や講演の実績を積み上げながら、副学長、学長室長、学部長、研究開発機構長、多摩大総研所長など多くの役職を歴任され、多摩大学の発展に大きく寄与され、研究活動を推進した功績は極めて大きく、本学の名誉教授に相応しい人物である。

秘書の近藤 千恵子さん

2009年2月より10年間に渡り、秘書として冷静沈着、かつ、しっかりと支えていただきました。

